

完成版

H29.7.25

新潟市教育ビジョン第3期実施計画

～NEXT&NEW～

平成28年度 施策最終評価



平成29年5月30日

新潟市教育ビジョン推進委員会

新潟市教育ビジョン平成28年度施策実施状況最終報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策(54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁		
				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進 [NEXT]	4.3									◎				☆	1
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3									◎					3
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進 [NEXT]	3.4				○					◎				☆	5
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進 [NEXT]	4.0									◎				☆	7
	1-5	学習習慣の定着	5.0									◎					9
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実 [NEXT]	2.5					○		○	◎					☆	11
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進	4.3									◎	○	○			13
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進 [NEXT]	3.6									◎				☆	15
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実	4.0									○		◎			17
	2-4	文化・芸術活動体験の推進	5.0									◎		○			19
	2-5	体力づくりの推進	3.0									◎					21
	2-6	健康づくりの推進	3.5				◎										23
	2-7	食育の推進	4.0				◎						○				25
	2-8	青少年の健全育成の推進	4.2					◎						○			27
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実	5.0											◎			29
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実 [NEW]	4.5									◎				☆	31
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組 [NEW]	4.7									◎				☆	33
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.5				○					◎		○			35
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進 [NEW]	4.0									◎				☆	37
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進 [NEW]	5.0									◎				☆	39
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0									◎					41
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実 [NEW]	3.0									◎				☆	43
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組 [NEW]	4.0								◎					☆	45
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進 [NEW]	5.0								※		◎			☆	47
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	4.6									◎	○	○			49
	6-2	交流・体験活動の推進	4.0											◎			51
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実への支援	4.7									※	※	○	◎		53
	7-2	子育て支援の充実	4.5											◎			55
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0											◎			57
	8-2	学び育つ各世代への支援 [NEXT]	5.0										○	◎	○	☆	59
	8-3	地域における生涯学習活動への支援	5.0											◎			61
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進 [NEXT]	4.5									◎			○	☆	63
	9-2	広報広聴活動の推進	4.0									◎					65
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5									◎			○		67
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進 [NEW]	4.7									○	○	◎		☆	69
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0									◎			※		71
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画	2.5											◎	○		73

基本施策(13施策)	施策(54施策)			3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料頁		
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実	[NEW]	4.0							◎						☆	75
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進		4.0							◎							77
	10-3	安全な学校施設		4.0			◎											79
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実	[NEW]	4.0	◎				○		○						☆	81
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実	[NEW]	4.0	◎												☆	83
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備		5.0			◎											85
	11-3	学校施設の整備		1.0			◎											87
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備		4.3								◎	○					89
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実	[NEXT]	4.0					※				○	※	◎	☆	91	
	12-2	教職員への支援体制の充実		4.3					◎									93
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置		4.0					◎									95
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化		4.0					◎									97
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進	[NEW]	4.0	◎												☆	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備		/	○					○								101
	13-3	教育情報の収集と発信		4.0	◎													103
	13-4	学校適正配置		/	◎													105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価		3.0	◎													107

施策評価の平均	全施策の平均	4.12
	NEXT&NEWの平均	4.10

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	17.6%	84.3%	← 平均評価5.0の施策数÷51施策×100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策	66.7%		← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数÷51施策×100
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策	9.8%		← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数÷51施策×100
	評価2 … 指標を下回った施策	3.9%		← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数÷51施策×100
	評価1 … 指標を大きく下回った施策	2.0%		← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数÷51施策×100

指標目標の 評価基準	指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、()内は、減少指標目標の場合
	※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100
	評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)
	評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)
	評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)
	評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)
評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)	

平成28年度 施策評価の総括	<p>各施策の評価は、5.0から1.0までの数値で示されており、指標目標どおり達成した場合は、評価4.0以上となる。教育ビジョンの54施策のうち、数値評価できるものが51施策あるが、51施策の平均が4.12、更にNEXT&NEWの20施策の平均が4.10となり、両方も評価4.0以上となった。</p> <p>また、評価の分布を見ると、指標目標を上回って達成した評価5(平均評価5.0)が9施策で17.6%、指標目標を概ね達成した評価4(平均評価4.0以上5.0未満)が34施策で66.7%、両者を合わせると84.3%となった。施策の平均としては評価3となったが、これは平成27年度最終評価において全施策の中で「指標どおり概ね達成した施策の割合」が90.2%ととても高い割合であったため、平成28年度指標目標を90.2と高く設定したことによる結果である。しかしながら、84.3%の施策が目標を超えたことは、施策が着実に実施され成果を挙げていると判断できる。</p>
-------------------	---

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進(p.17)	(NEXT)
--------	----------	-------	------------------------------	--------

●H28施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	75.0			5	169.4%
進捗状況	-	42.5	72.0					
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	105.3%
進捗状況	92.0	95.0	100.0					
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56			4	100.0%
進捗状況	-	56	56					
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.0	1.0	1.0			4	100.0%
進捗状況	1	1.0	1.0					
指標5	環境教育事業の実施						H28評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施				
進捗状況	実施	実施	実施					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で83%, 中学校57%と確実に増えている。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○年間2回実施される研究主任研修会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	○年間2回実施される研究主任会での指導と支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会
当初予算額 7,400千円	決算額 6,357千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定9校において実施 ○児童生徒に緑に親しみふれ合い, 自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。
当初予算額 1,200千円	決算額 1,194千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施	河川等の環境美化活動や各地域の自然や環境の学習を実施し, 延べ1,131人が参加
当初予算額 316千円	決算額 362千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	8,916 千円	H28	7,913 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	16,801 千円	合 計	14,550 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○授業づくりにかかる各種研修会及び学校訪問を通じて、授業や教育活動をESDの視点から捉え直すことにより、これまでの取組に、「持続可能な社会の担い手を育む」という共通の目的を方向付けてきた。また、他の事業(防災教育学校・地域連携事業)と関連付けて、ESDの概念の理解を進めてきた。その結果、ESDを教育課程に位置付けた学校が70%になった。

※ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で『持続可能な開発のための教育』と訳されている。現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題がある。ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育である。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続した。その結果、学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

○アフタースクール学習支援員については、今年度、数学25名、英語29名を登録し、英語は全56中学校、数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。10月には学習支援員の研修会を行い、支援の質の向上に努めた。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校4校(升湯小、早通小、白山小、岡方中)指定校9校(太田小、江南小、山湯小、横越小、小合小、白根小、立仏小、小瀬小、越前小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(横越小、太田小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校において身近な環境と水俣病との関連に気付き、子どもたちが住む地域の環境問題を自らの課題としてとらえる意識が高まった。平成29年2月22・23日には、環境学習支援事業全体発表会を開催した。そこでは、希望校と指定校13校が実践発表し、互いの成果を共有した。

○小学生を対象にした自然体験や地域住民に向けた身近な環境を学ぶ講座を実施し、自然や環境について考える機会を提供し、地元の自然環境の素晴らしさや環境保護の大切さを学ぶことができた。

● 29年度の取組

○29年度も学校訪問等を通じて、ESDの視点からの授業や教育活動の改善推進を働きかけていく。また、広報等でESDの概念の理解をさらに広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら取組を進めていく。

○29年度も学校訪問等を通じて、「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業づくりを働きかけていく。また、第2回研究主任研修会で各校の取組について紹介・検討しあい、取組の充実を図っていく。

○今年度より本格実施になるため、10月にアフタースクール学習支援員研修会を行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導・支援すると共に、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を校長会を通じて働きかけていく。

○29年度も引き続き、学校と連携した環境教育や親子で体験する環境事業を、地域団体と連携して実施することにより、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

○ ESD(持続可能な開発のための教育)の広報はどのように行っているのか。また「アクティブ・ラーニング等の取組を研究主任が各学校でリードできるよう支援した」とあるが、研究主任は校内のどのような人が務め、教育委員会は学校の支援要請に十分に答えられているのか。

⇒ ESDについては学校支援課で作成している広報紙等を通じて周知している。研究主任は教諭が務め、授業研究やESDの実施計画等を立てて推進している。学校支援課では計画訪問は2年に1回、要請訪問は各校からの要請に応じて対応している。この他にも総合教育センターの研修や出前講座等で学校の支援にあたっている。

○ 指標2・3について、「アクティブ・ラーニングを実施した学校の割合」や「放課後学習支援をする中学校」は、すべて実施しても評価4であり、評価5を目指すことはできないが、この点についてはどのように考えればよいか。

⇒ 指標によっては、100%実施で評価4が最高評価となる。頑張っ取り組んでいる様子は記述評価から汲み取っていただきたい。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●H28施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	5	100.0%
進捗状況	97.0	100.0	100.0					
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	100.0%
進捗状況	-	100.0	100.0					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 キャリア教育推進事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配布 ○中学校での職場体験の推進 ○キャリア教育・年間指導計画の改善	○「中学生キャリア教育」を全中学校に配付し、職場体験等で活用 ○中学校での職場体験を57校中56校で実施 ○キャリア教育の年間指導計画を小・中学校全校で改善	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2 市立高等学校キャリア教育推進事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○高等教育機関や企業等からの講師による授業実施 ○大学見学・職場体験、インターンシップ等の実施 ○キャリア教育・年間指導計画の改善	○高等教育機関や企業等からの講師が参加参画する授業の実施 ○大学見学・職場体験・インターンシップの開催	
当初予算額	197千円	決算額 1,315千円
構成事業3		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	197 千円	H28	1,315 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,896 千円	合 計	2,640 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用している。また、リーフレットの中に中学校で身に付けてほしい力として「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を示し、キャリア教育年間指導計画に位置付けるように改善を進めている。

○6月に大学講義体験を実施し、大学の先生を学校に招いて、複数の講義を体験することで、生徒の大学進学意欲への向上に努めた。

○6月にインターンシップを実施し、職場体験を通して、生徒が将来の進路や職業間について考える機会を設けた。また7月に大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションすることを通して、生徒が大学で学ぶ意義について考える機会を設けた。

● 29年度の取組

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を市内中学校へ配布し、職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用できるようにする。

○キャリア教育で身に付けてほしい力「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を示し、その定着を意識しながら学習したり生活したりできるようにキャリア教育を年間指導計画に位置づけるように各学校に引き続き指導していく。

○市内中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、より多くの学校で充実した活動となるよう支援する。

○市内高等学校では、7月に大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションしたり、大学の先生を学校に招いて複数の講義を体験したりすることで、生徒の大学進学に対する意欲の向上や大学で学ぶ意義について考えられるようにする。

○10月に大学の先生を招いて講演会を実施し、大学進学意欲のさらなる向上に努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.4

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	4	92.7%
進捗状況	70.7	68.5	63.5					
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	2	89.3%
進捗状況	73.4	56.0	50.0					
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	3	74.1%
進捗状況	67.3	66.1	49.0					
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	2	107.9%
進捗状況	62.8	48.2	52.0					
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		84.0	84.5	85.0			4	99.7%
進捗状況	83.1	87.7	87.4					
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.5	71.0	72.0			4	105.2%
進捗状況	69.8	70.7	74.4					
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.5	81.0			4	99.1%
進捗状況	79.1	85.0	84.2					
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.0	71.0	72.0			4	101.6%
進捗状況	69.0	70.5	71.6					

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学力実態調査	
H28事業計画	H28事業成果
○市内全中学2年生に学力調査(CRT)を実施(理科, 英語) ○学力実態報告書の作成・配付	○市内全中学2年生に学力調査(CRT)を実施 ○学力実態報告書を作成し, 各校に配付 ○新潟市全体の傾向を市のホームページに掲載
当初予算額 4,422 千円	決算額 4,103 千円
構成事業2 学力定着支援事業	
H28事業計画	H28事業成果
○小学校3・4・5・6年生と中学校全学年用の算数・数学の単元評価問題の作成・配信(年9回) ○理科の評価問題を作成・配信(年4回) ○経年変化のグラフが出るよう	○小学校3・4・5・6年生の算数と中学校全学年の数学の単元評価問題及びサポート問題を年9回配信 ○理科の評価問題を年間4回配信 ○経年変化が各校で確認できるシステムに変更
当初予算額 817 千円	決算額 789 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施	○学習支援員を全市立中学校に配置し, 事業を実施 ○5月に学習支援員連絡会, 10月に学習支援員研修会を実施 ○参加生徒延べ15,247名の生徒が受講
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,357 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業	
H28事業計画	H28事業成果
○教員を目指す大学生を学習支援員として派遣し, 児童生徒へのきめ細かな学習指導を支援 ○連絡調整費として一回につき1,000円を支給。一人当たりの上限を30回とし, 160名の派遣	○学習支援ボランティア派遣プロジェクトにおいて, 176名の学生を88学校園に派遣した。延べ回数2,772回
当初予算額 3,200 千円	決算額 2,772 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト	
H28事業計画	H28事業成果
○理科支援員の配置	○理科支援員を42校に配置 ○理科の授業の「観察・実験の回数」「計画性」「予備実験の有無」「安全性」「きめ細かな指導」などのアンケート項目で, すべて9割以上の肯定的評価が得られた。
当初予算額 3,800 千円	決算額 3,789 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○本事業にかかる研修会の開催(第1・2研修会・教職員のみ対象の研修会・区研修 新任コーディネーター研修, 校園長研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事合わせて延べ1,318名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を45校で実施
当初予算額 146,138 千円	決算額 148,801 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	19,639 千円	H28	17,810 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	39,221 千円	合 計	36,687 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○【全国学力・学習状況調査による学力実態:正答率】

- ・国語A 小学校:76.3%(全国比+3.4), 中学校:76.8%(全国比+1.2)
- ・国語B 小学校:61.3%(全国比+3.5), 中学校:67.4%(全国比+0.9)
- ・算数数学A 小学校:79.7%(全国比+2.1), 中学校:62.7%(全国比+0.5)
- ・算数数学B 小学校:49.1%(全国比+1.9), 中学校:45.6%(全国比+1.5)

◎全国学力調査の国語・算数・数学のB問題において、平均正答率は全国平均より新潟市平均が大きく上回っているものの、指標2～4に見られるように全国平均正答数を上回る児童生徒数の割合は指標目標を下回った。これは、正答数が低位だった児童生徒が各事業によって中位程度まで向上してきた反面、中位の児童生徒が上位には上がらなかったためである。

○学校訪問の継続により、組織的な授業改革が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで定着してきたと考えられる。また、8月に教諭全員を集めて実施した授業づくり研修により、中学校の授業改革が進んできた。

○算数・数学の単元評価問題等の配信は、今年度から経年変化が分かるグラフが出るように修正した。指導の要点をもとに指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。

○3月末までで、合計176名の学習支援ボランティアの学生が88校に配属され、延べ派遣回数は2,772回である。学校からのニーズが高く、1人年間20回を上限とした。授業補助や児童生徒の個別支援により、学力向上に向けた学習支援を行った。

○理科支援員配置についての希望を募ったところ、92校の応募があり、これまでの配置状況を踏まえて検討し、今年度42校に理科支援員を配置した。

○アフタースクール学習支援員については、今年度、数学25名、英語29名を登録し、英語は全56中学校、数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

● 29年度の取組

○全国学力・学習状況調査の結果を受けて、各学校がより一層授業改革に取り組めるように、下記研修会を実施する。また、今年度は学力と児童生徒の意識調査を関連させて研修を進めていく。

- ・授業マネジメント研修会(校長対象10月 教頭対象11月)
- ・授業改革戦略フォーラムⅡ(研究主任対象 1月)

○単元評価問題配信事業は、上半期に引き続き算数・数学・理科の評価問題を配信するとともに、解説を作成し配信する。

○10月にアフタースクール学習支援員研修会を行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援を行える力を養うための研修会にする。

○大学と連携し、学校側からのニーズを伝えたり、現場での学習支援ボランティアの活動の様子を把握したりして、さらなる教育的効果を上げることができるよう進めていく。

○理科支援員についての希望を募り、これまでの配置状況を踏まえて検討し、今年度39校に理科支援員を配置予定。

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメント研修を継続実施及び校内研修の支援を行う。

◎パートナーシップ事業に対する地域の理解を深めるため、地域と学校ウェルカム参観日を引き続き実施。地域コミュニティ協議会への事業周知を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	4	200.0%
進捗状況	-	25.0	50.0					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○ASP(総合推進会議, 推進委員会, 評価・サポート委員会)を開催し, ASPの改善点の検討を実施 ○ASP研修会の開催, 活用のポイントを周知 ○ASP実践事例集編集会議の開催, 発行の準備	○総合推進会議1回, 推進委員会3回, 評価・サポート委員会3回を開催し, ASPの改善点を明確にし, 各学校に周知 ○ASP研修会を6回の開催, 活用のポイントを周知
当初予算額	0千円
決算額	0千円
構成事業2	
0	0
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
0	0
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○校長会や教育委員会事務局, 市長部局関係機関の代表者からなるアグリ・スタディ・プログラム(以下, ASP)総合推進会議を5月26日に開催した。そこでは, 27年度の教育活動を振り返り, 取組の課題を明確にし, 28年度のASP推進の方向性を示した。

○ASP総合推進会議の検討内容を受け, 各区小学校代表校長(8名)と代表中学校長(4名)からなるASP推進委員会を2回開催した。そこでは, 総合推進会議で示された方向性に基づいて, 各区において具体的にどのような取り組みかについて情報交換を行った。

○小中学校, 市PTA連合会, 教育委員会事務局, 市長部局関係機関の代表者からなるASP評価・サポート委員会を, ASPの実践参観については4回, 協議については2回開催した。実践参観とそれに基づく協議の中で, ASP実践について評価し, 課題点を明らかにした上で, よりよい実践につながる助言を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。そこでは, 搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに, それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは, すぐに自分の実践に利活用できる研修内容として好評を得た。

○「農業をもとにした新潟市の教育の効果」「農業を活用して発展する新潟市の素晴らしい都市イメージ」の2つを全国に向けて発信するためのASP実践事例集を作成するため, 編集員会議を4回開催した。体験活動の具体的な内容と展開例を, 視覚的にも分かりやすい冊子にするために, 話し合いを重ねた。

○ASPに基づいた体験活動を行い, 実感を伴って確かな学びを実現できるように取り組んだ小学校が100%であった。

●29年度の取組

○ASP総合推進会議, ASP推進委員会, ASP評価・サポート委員会を計画的に開催する。様々な委員から, それぞれの立場からのASPの改善を検討してもらう。その結果をもとに, より充実したプログラムに改善し, ASP参加者に還元していく。

○ASP研修会を開催し, 活用のポイントを周知し, より質の高い体験活動につなげていく。さらに, ASP成果発表会とアグリパークを語る会を開催し, 参加者の声に基づいた改善につなげていく。

○ASP実践事例集の発刊の準備を進めていく。発刊の際には, 校長会等を通して, 実践集の内容を周知し, さらに各学校園におけるASPへの関心を高めることにつなげていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		51.8	51.9	57.7			5	111.2%	
進捗状況	-	51.8	57.6						

指標2								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標3								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標4								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標5								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標6								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標7								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

指標8								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習習慣定着事業	
H28事業計画	H28事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(HP・支援課広報紙「サポート」等)	○「新潟市生活・学習意識調査」にて, 家庭学習実態にかかわる調査を実施(11月) ○授業と家庭学習をつなぐリーフレット「新潟市の家庭学習」の作成(3月)
当初予算額 398 千円	決算額 343 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	398 千円	H28	343 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	932 千円	合 計	566 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○家庭学習実態調査を基に、授業と家庭学習をつなぐリーフレット「新潟市の家庭学習」を作成した。

○学校支援課広報誌「サポート」で授業と家庭学習をつなぐ有効な取組例を紹介し、家庭学習の定着に向けた取組を学校・教職員に働きかけた。

○学校課題に家庭学習への取組を挙げる学校が増えてきており、児童生徒の家庭学習時間が増加した。

● 29年度の取組

○各種研修会や学校訪問等の機会を活用し、リーフレット「新潟市の家庭学習」に基づいた家庭学習定着への確実な取組を促す。

○学校支援課広報誌「サポート」を活用し、学校体制での有効な取組を紹介するとともに、各校における着実な取組を推進する。

● 推進委員からの意見・要望等

○「家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合」は増えているが、どのように調べているのか。また小学校6年生や中学校の各学年ごとの状況などはわかっているのか。

⇒ 新潟市の生活・学習意識調査は小中学校全学年を対象にしている。「していない」から「3時間以上している」までの幅で状況の把握はしている。全国学力学習状況調査は小6と中3で行われているが、小学校は全国と同じか少し良い状況で、中学校は全国を下回る状況である。

●H28施策評価

3期進捗平均
2.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	1	61.9%
進捗状況	77.2	75.6	46.8					
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	4	88.9%
進捗状況	55.1	62.1	55.2					
指標3	中学生の不読率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	4	104.1%
進捗状況	12.1	12.3	11.8					
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.8	2.8	2.8			1	110.0%
進捗状況	2.7	1.0	1.1					
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○小学校22校, 中学校11校を学校図書館活用推進校として指定し, 年度末(2月)に実践発表会の開催。27年度学校図書館活用推進校実践例を市HPに掲載 ○学校支援課より「サポート」で代表的実践例の紹介	○小学校22校, 中学校11校を学校図書館活用推進校として指定し, 2月に各区ごとに実践報告会を開催 ○新潟市のHPにH28年度推進校の実践例を掲載	
当初予算額	0千円	決算額
		0千円
構成事業2 学校図書館支援事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○蔵書システム運用サポート体制強化(4月) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催, 次年度司書配置(3月)	○蔵書管理システム運用サポート校の拡大(16校) ○夏季休業中の学校図書館地域開放実施(89校) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催(H29.2.13)	
当初予算額	724千円	決算額
		575千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○学校訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修の実施 ○学校への貸出図書搬送事業の継続 ○学校貸出セット【オレンジBOX】追加整備と貸出の継続	○学校図書館訪問 309回 ○相談対応 1,360件 ○新任学校司書研修6回, 実務研修5テーマ5回実施 ○学校貸出図書搬送66,623冊 ○学校貸出セットに百科事典, 地域学習等5テーマ8セット追加	
当初予算額	1,547千円	決算額
		1,137千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】		
H28事業計画	H28事業成果	
○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○年度末(2月)に実践報告集を各校に配付	○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校を核とした新聞活用教育の授業実践の推進 ○実践報告集の配布及び啓発	
当初予算額	250千円	決算額
		216千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額
		千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	2,521 千円	H28	1,928 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,681 千円	合 計	3,816 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○学校図書館活用推進校事業の説明会を5月18日に開催し、今年度の活用推進校33校(小学校22校・中学校11校)が参加した。2月に各区で行われた実践報告会では、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を意識した優れた実践報告が行われた。また、総合教育センターの研修講座「教員と司書との連携充実」(8月5日「図書館活用推進編」、9月16日「探究学習編」)には多くの推進校の教員と司書が参加し、学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。

○学校司書を引き続き全小・中学校に配置するとともに、蔵書管理システムの円滑な運用ができるようサポート体制を整備した。サポート代表校をこれまでの8校から16校に増やし、代表校の負担を軽減した。

◎夏季休業中に小学校の学校図書館の地域開放を行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通じて、学校図書館への理解を深めてもらうことができた。

○特別支援学校における読書環境の整備に向けて、検討会を通して課題の共有を図り、29年度東西特別支援学校への学校司書配置に繋がった。

◎学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・市立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校の全校を訪問し、学校図書館の運営や活用状況を聞き取り、業務相談に応じた。
- ・新任学校司書研修を6回実施。学校司書実務研修では、全員を対象とした「学校図書館と著作権」や各学校図書館支援センターごとの研修を実施し、学校司書のスキルアップや業務の平準化を進めた。
- ・市立図書館から学校への団体貸出や学校貸出図書搬送により、授業や読書活動を支援した。学校貸出セット【オレンジBOX】の内容を見直した。
- ・「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」の重点事業である「うちどく(家読)」について、継続的にロゴマークや「うちどく読書ノート」の活用等について情報提供・収集を実施。学校を通して「家族ふれあい読書」の取組が広がった。

○4月に、各区1校(小学校8校、中学校8校)を新聞活用教育(NIE)推進校として指定し、以下のように取り組んだ。

- ・各校に新聞を配備し、新聞活用計画に基づき進めた。
- ・希望する学校に出前講習会を実施し、実践の推進を図った。
- ・実践報告書を作成配付し、優れた実践の共有に努めた。

※成果指標1の数値が減少したのは、成果を測るために用いてきた全国学力・学習状況調査の質問紙の項目が変更になったためである。これまで、図書館の活用を問うていた質問が、図書館の資料に限定して活用したかを問うたため、肯定的な評価が減ってしまった。しかし、「新潟市の学校教育」の評価をすすめるために、全校に問うた「課題解決のために、児童生徒が学校図書館や新聞等を活用したか」に対して、98%の学校から肯定的な評価を得ている。学校図書館の活用自体は前年度より確実に増えている。

●29年度の取組

○学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」としての機能が発揮されるよう、平成29年度学校図書館活用推進校の取組を支援し、区ごとに、29年度学校図書館活用推進校実践報告会を開催する(2月)。実践報告会には、平成30年度学校図書館活用推進校も参加することとする。

○全ての市立学校(小・中学校、中等教育学校、特別支援学校、高等学校)への学校司書配置を継続する。蔵書管理システムの円滑な運用ができるようサポート体制を引き続き整備する。

○学校司書が配置された特別支援学校の学校図書館について、学校・関係課と連携し整備を進める。

◎夏季休業中に小学校の学校図書館の地域開放を行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通じて、学校図書館への理解を深めてもらう。

◎学校図書館支援センターの運営について、4つの支援センターごとに設置している「運営協議会」と全市の支援センターの在り方について協議する「運営検討委員会」を通して、課題を共有し、効果的な学校図書館支援が行えるよう引き続き協議・検討する。

◎学校図書館支援センターの取組は以下のとおり

- ・市立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校の全校を訪問するほか、新任学校司書配置校等には個別に支援を進める。授業での学校図書館活用や読書活動、「うちどく(家読)」、地域ボランティア等の情報を収集、提供を行う。
- ・新任学校司書研修を6回実施。学校司書実務研修については、4支援センター共通で「新聞活用教育(NIE)と学校図書館」をテーマとするほか、各支援センターごとにテーマを設定し、実施する。
- ・市立図書館から学校への団体貸出、学校貸出図書搬送を継続実施する。

○新聞活用教育(NIE)推進校を指定し、新聞活用が促進されるよう事業を推進する。

○30年度以降の高等学校における新聞活用教育推進のため、条件整備を進める。

●推進委員からの意見・要望等

○ 図書館の活用や読書の推進等に取り組んでいるが、読書の感想文を書いたり、その発表を通じて、人の心を育てることはとても大切であると思うが、そのようなことは行われているのか。
⇒ 指標では明確に表れていないが、学校司書を中心に、学級担任等との連携の上で実施されている。

○ 学校では子どもたちの図書委員会の取組等もあり、本の良かったところを伝えたり、心を耕す取組が行われていると聞いているので、今後も大事にしてほしい。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.0	80.0			4	102.3%
進捗状況	79.8	78.5	80.3					
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72.0	72.0	72.0			4	98.8%
進捗状況	70.6	72.4	71.5					
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5				
進捗状況	96.0	95.2	—					
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5				
進捗状況	96.1	95.6	—					
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		98.0	98.0	98.0			4	100.5%
進捗状況	97.5	97.1	97.6					
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.3	95.0			4	99.6%
進捗状況	94.3	95.2	94.8					
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	99.9%
進捗状況	90.2	94.5	94.4					
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	5	114.7%
進捗状況	24.5	24.5	28.1					
指標9	家庭教育学級数(講座)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	5	100.0%
進捗状況	63	68	68					

●施策を構成する事業

構成事業1 道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会等を実施 ※当初予算額欄は人権教育関係の予算額 ○改訂した福祉読本の作成と配付 ○男女平等教育のための資料作成と配付		○道徳教育研修会実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会を実施 ○計画訪問で道徳授業研修会の実施 ○改訂した副読本の配付 ○男女平等教育のための資料作成と配布	
当初予算額	1,652 千円	決算額	182 千円
構成事業2 家庭教育振興事業(再掲)		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) ○家庭教育フォーラムの実施 ○乳幼児期家庭教育学級及びプレママ学級の実施		○朝ごはん料理講習会の実施(39か所,参加者1,133名) ○子育て学習出前講座の実施(小102校,中16校) ○家庭教育フォーラムの実施(参加人数 210名) ○出産前から思春期までの家庭教育学級 68事業	
当初予算額	11,399 千円	決算額	10,827 千円
構成事業3		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6		H28事業成果	
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	13,051 千円	H28	11,009 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	433,471 千円	合 計	20,283 千円

注:再掲事業分を含む

<前ページの指標目標の設定型>

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

● 28年度の取組に対する評価

○道徳研修会は例年どおり年3回の実施が順調に進められた。

○人権教育, 同和教育の研修会は予定通り, 10回を無事終了した。研修会参加者の評価は大変高く, 「もっと回数を増やしてほしい」という要望もある。

○福祉教育に活用する福祉読本が完成し, 全小中学校, 特別支援学校に50冊ずつ配付済み。各校の授業で活用されている。

○男女平等教育についての資料は, 今年度からデータをCD化したものを既に全小・中・高等学校に配付した。各校の授業で活用されている。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では, 学校や地域と連携・協力しながら, 料理講習会を39か所で実施。アンケート結果では, 「親子で食の大切さを学ぶ貴重な機会であった。地域の子どもと楽しみながら朝ごはんの大切さについて学ぶことができた。」といった声が寄せられ, 基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

◎子育て出前学習講座については, 小学校102校, 中学校16校において, 就学時健診, 新入生学校説明会, 中学校では更にPTA行事に, 家庭教育に関する講師を派遣し, 講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。

◎家庭教育の大切さを再認識してもらい, 家庭・学校・地域が連携して家庭教育力の向上を目指していくため, PTAと連携して家庭教育フォーラムを実施した。

○乳児期から思春期までの子どもの成長期に沿った家庭教育学級や, プレママ学級, 父親学級を実施し, 子どもの発達課題など, 子育ての知識や情報, 親としての関わりなどを学び, 親同士の仲間づくりによる子育ての孤立を防ぐなど, 家庭教育力向上のための支援を行った。(乳児期家庭教育学級25講座, 幼児期家庭教育学級24講座, 児童期10講座, プレママ学級4講座, 父親学級2講座など)

※成果指標3, 4については, 評価対象となる全国学力・学習状況調査項目が単なる心情の評価から具体的な行為の評価へと変更になった(「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」→「人が困っているときは, 進んで助けていますか」)ため, H28年度の成果を評価することができなかった。(参考:H28年度調査結果「人が困っているときは, 進んで助けていますか」小6:86.5%, 中3:85.5%)

● 29年度の取組

○道徳研修会は, 今後も新潟市の目指す授業づくりを道徳においても進めていく。それが道徳の教科化への対応につながる。

○人権教育, 同和教育の研修会は, 参加者の当事者意識を高め, 満足度をさらに高めるように進めていく。

○福祉読本の活用について, 各校に奨励する。

○男女平等教育については, 配付した資料の活用をさらに各校に奨励していく。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業に関連する講習会等を, 学校や地域と連携・協力しながら実施するほか, ホームページや広報紙等を通して普及啓発を図っていく。

◎子育て学習出前講座については就学時健診や新入生学校説明会, 中学校では更にPTA行事に家庭教育に関する講師を派遣し, 講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図る。

○引き続き, 子どもの成長期にあわせた家庭教育学級を開催するとともに, 休日に講座を開催することにより, 平日の講座への参加が難しい対象者に学習機会を提供します。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.6

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.7	66.7	67.0			4	83.1%
進捗状況	61.1	83.3	69.2					
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0		100.0	4	96.7%
進捗状況	96.2	99.1	95.8					
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0		100.0	4	101.9%
進捗状況	94.5	96.3	98.1					
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.38	0.38	0.38			2	90.0%
進捗状況	0.40	0.40	0.44					
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.65	2.62	2.60			4	100.0%
進捗状況	2.69	2.64	2.64					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議の開催 ○「新潟市教育フォーラム2016」の開催		○いじめの積極的な認知と組織的な対応を推進するための研修会や指導を実施 ○いじめ防止に関わる管理職・生徒指導担当教諭への研修を実施 ○いじめ防止市民フォーラムを1回開催	
当初予算額	952 千円	決算額	941 千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○スクールカウンセラーを全ての小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置		○スクールカウンセラーを全ての小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置し, 未配置校でもカウンセリングを実施	
当初予算額	82,467 千円	決算額	80,859 千円
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		決算額	千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	83,419 千円	H28	81,800 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	172,070 千円	合 計	171,542 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○いじめ状況調査におけるいじめ認知件数が、小・中学校のいずれにおいても大幅に増加している。各校におけるいじめ認知に向けた意識が高まっている。

○いじめ防止等専門委員会を開催し、事案の内容及び学校・市教委の取組等について専門家立場から確認・協議いただいた。そこでの意見・指摘を取組の改善に生かした結果、問題は解消の方向に向かっており、関係児童の心の回復、学校生活への復帰も見られた。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」について、迅速かつ組織的・実効的に対応できるように改訂し、各学校園に周知した。

○4月の学校マネジメント研修では、「いじめの認知と対応」「学校・学級の諸問題への対応について説明し、校長への周知と理解の促進に努めた。

○初任者研修では「いじめの認知」について講義・演習を行い、対象の教員の理解促進と力量の向上に努めた。

○11月12日(土)に開催した「新潟市教育フォーラム2016(いじめ防止市民フォーラム)」を開催し、新潟市全体でいじめの実態と対応策を共通理解する機会とした。

○これまでのスクールカウンセラーの学校への配置に加えて、新たに86校の小学校にスクールカウンセラーを配置し、本年度より、すべての市立学校にスクールカウンセラーの配置を行った。

● 29年度の取組

○「いじめ防止市民フォーラム」の準備及び当日の運営を行う。学校関係者だけでなく、市民の目線からもいじめ防止のあり方をとらえ直す機会とする。

○いじめ重大事態の未然防止に向け、学校からの報告に迅速・適切に対応し、学校での組織対応を支援する。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」の改訂に伴い、各校園における「いじめ対応ミーティング」が適切に行われているか、指導主事訪問及び管理主事訪問の際に取組状況を確認し、指導・助言していく。

○管理職及びスクールカウンセラー、スクールカウンセラー担当者を対象として、学校での緊急対応についての講演及びシンポジウムを開催する。その中で、三者の対応への共通理解を図っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 子どもの感性や考え方を育むことは学校だけでは難しい。「学・社・民の融合」の理念に沿い、大人や社会の変革を働き掛けていくことが必要である。例えば、家庭教育学級の事業で、インクルーシブ教育システムの推進等で、感性を磨き、耕していく取組を社会教育で進めてほしい。

○ いじめ対応ミーティング等により、職員同士の、特にベテラン職員と若手職員間の話し合いによって、学びの場ができていく例もあるので、これらの取組例の学校間の共有ができればよいと考える。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		自然体験学習を実施した学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		94.0	95.0	95.0		95.0	4	98.9%	
進捗状況	94.6	96.4	95.3						
指標2		子供向け体験活動事業参加者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	4	99.3%	
進捗状況	21,011	20,516	20,365						
指標3								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標4								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標5								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標6								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標7								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標8								H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援	
H28事業計画	H28事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験学習推進事業による小学校1学級当たり5万円のバス代補助の実施 ○体験学習の意義等の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校109校中105校(226学級)が本事業を活用 ○豊かな自然環境の中で集団宿泊活動を実施できた学校が96%
当初予算額 11,000 千円	決算額 11,096 千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	
H28事業計画	H28事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動・体験活動事業等の実施 ○ジュニアリーダー講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども向け各種体験事業の実施, ジュニアリーダー講座など, 258講座を実施
当初予算額 3,418 千円	決算額 2,630 千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	14,418 千円	H28	13,726 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	29,662 千円	合 計	31,220 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○108校中105校で自然体験学習が実施され、豊かな自然環境で集団生活を通して、心身の調和のとれた発達を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てることができた。

○土日や夏休み・冬休みなど長期休みの期間を中心に、ものづくり、科学実験などや家庭ではできない集団活動、キャンプなどの野外活動などを実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、他校の生徒との交流により、子どもたちの仲間づくりや社会性を育む機会となった。

○中央区の中学校でジュニアリーダー育成講座を開催し、コミュニケーションスキルや協力しあう難しさと大切さを学ぶ機会となった。

● 29年度の取組

○自然体験学習の意義を、通知や校長会・教頭会を通じて、各校に周知していく。具体的には、豊かな自然環境で集団生活を通して、心身の調和のとれた発達を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる自然体験学習の良さを、具体例を示しながら広報し、周知していく。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休みの期間に様々な体験活動事業を実施し、地域の大人や学年の異なる子どもたちと交流することで、子どもたちの豊かな心と社会性を育み、仲間づくりをすすめる。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 「協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てることができた」という記述評価があるが、何を基にして評価されたのかを伺いたい。
⇒ 裏付けとなるデータはないが、アグリ・スタディ・プログラムでの体験活動や、五頭へ出掛ける等の自然体験学習が低学年の段階から行われていることから判断をした。

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2			5	100.0%
進捗状況	4	3	3					
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	97.7%
進捗状況	5,081	6,663	6,509					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○わくわくキッズコンサートの開催 ○「こころの劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子どもの育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○わくわくキッズコンサートの実施 ○「こころの劇場」招待公演の実施 ○文化芸術による子どもの育成事業巡回・派遣公演を15校で実施 ○事業内容の検討実施 	
当初予算額	38,781 千円	決算額 38,003 千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども大凧合戦や新瀬漆器の絵付け体験など地域の伝統文化の体験事業を実施 	
当初予算額	1,798 千円	決算額 1,266 千円
構成事業3		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	40,579 千円	H28	39,269 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	72,975 千円	合 計	79,548 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○わくわくキッズコンサートは、市内116校(附属小学校を含む)の小学校5年生6711名が東京交響楽団による演奏の鑑賞を行った。例年の事業の蓄積で、5年生児童のわくわくキッズコンサートに対する期待が大きい。また、同時に東京交響楽団の演奏者による事前の学校訪問「アウトリーチ」は多数の学校から応募があり、昨年度は、60校で9月26日(月)～9月29日(木)にかけて行った。すばらしい演奏を身近で聴き、演奏者の音楽にかける思いに触れることができた。わくわくキッズコンサートは、11月8日(火)と11月9日(水)の2日間で実施した。すばらしいりゅーとびあのホールで生の演奏を会場が一体となって共有することができた。

○「こころの劇場(ガンバの大冒険)」は、10月26日(水)、10月27日(木)、10月28日(金)に公演を実施し、鑑賞を希望した市立小学校110校、6836名の6年生を招待した。

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦、巻の鯛車づくりなど、地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを知ってもらい、豊かな心を育み地域の魅力を再確認する機会とした。

● 29年度の取組

○わくわくキッズコンサートは、10月31日(火)、11月1日(水)に公演予定である。学校割振り計画とバス配車計画の準備を進めている。

○「こころの劇場(嵐の中の子どもたち)」は今後バス配車を確定し、10月23日(月)、10月24日(火)、10月25日(水)に公演予定である。

○引き続き、子どもたちに地域の文化や伝統を体験する機会を提供することにより、伝統・文化の素晴らしさと地域の魅力を継承することの重要性を理解してもらおう。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	52.0	47.0		55.0	3	100.0%
進捗状況	52.1	47.9	47.9					
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.5	82.0	82.0		85.0	3	100.3%
進捗状況	79.2	77.6	77.8					
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						H28評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		58.0	59.0	-	-	-		
進捗状況	56.7	55.8	-	-	-	-		
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業	
H28事業計画	H28事業成果
○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約, 情報提供	○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約し, 各校へ配付。研修会でのよい取組の紹介。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」	
H28事業計画	H28事業成果
○体力向上指導者養成研修へ3名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回・幼稚園1回・中学校: 県と共催1回) ○「学校体育のあしあと」CD作成。市立学校全校へ配布	○体力向上指導者養成研修へ3名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回, 幼稚園1回, 中学校1回) ○「学校体育のあしあと」CD作成, 市立学校全校へ配付
当初予算額 175千円	決算額 191千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」	
H28事業計画	H28事業成果
○運動部エキスパートととして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとしてを40名以上派遣	○運動部活動における競技力及び体力の向上を図るため, 運動部エキスパート67名, サポーター36名派遣
当初予算額 4,500千円	決算額 4,185千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6「地域と学校パートナーシップ事業【再掲】」	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	4,675 千円	H28	4,376 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	9,356 千円	合 計	8,887 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○「体力向上ジャンプアップ」について、各学校から今年度の実施計画を集約し、校種毎に印刷製本し配付した。各校の実践の参考となっている。

○独立行政法人教員研修センター主催、文部科学省共催の「体力向上指導者養成研修」に3名の教員を派遣した。6月には、市立小学校を2つに分け、伝達講習会を実施した。8月に市立幼稚園と市立中学校(県の伝達講習会に参加)で伝達講習会を実施した。どの校種の教員も真剣に研修に取り組んでいた。各校・園で伝達講習を行うよう依頼している。

○運動部エキスパートとして67人、運動部サポーターとして36人が学校に出向き指導や顧問の補助に当たった。エキスパートの指導回数は、延べ2144回である。派遣校の当該運動部では、練習が活性化され体力向上の一助になっている。

● 29年度の取組

○全国体力運動能力調査の結果や市小学校教育研究協議会体育部及び市中学校教育研究協議会保健体育部の実践、小体連、中体連の結果報告、体力向上指導者養成研修等の報告を「学校体育のあしあと」としてCD-ROMにまとめ、市立学校・園に配付する。

○計画訪問、要請訪問、初任研～12年研までの各種研修を通して、生徒が運動の楽しさが十分得られる授業づくりに向けた指導を行う。

○学校によってエキスパートの指導回数に差がある。上半期に指導回数が偏っている学校と年間を通して平均的に指導を受けている学校があるが、体力向上の観点からは派遣時期の偏りがないように働きかけていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6.44	6.07	5.69	5.32	5.30	3	96.4%
進捗状況	6.82	6.68	6.92					
指標2	中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.51	0.46	0.41	0.36	0.30	3	103.8%
進捗状況	0.56	0.53	0.51					
指標3	健康診断の確実な実施(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2			4	100.0%
進捗状況	2	2	2					
指標4	研修会の実施(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		6	6	7			4	100.0%
進捗状況	6	6	6					
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○パンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施		○5月にパンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4(1156名), 中1(766名)の希望者に血液検査などの健診を実施	
当初予算額	7,399 千円	決算額	7,822 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施		○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施(幼稚園11園全園実施済100%・小学校108校中70校実施済64.8%・中学校57校中8校実施済14.0%)	
当初予算額	13,363 千円	決算額	10,218 千円
構成事業3 各種健康診断事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○就学時健康診断 ○定期健康診断		○就学時健康診断の対象者6,551名(H28/10/1現在)6,555名実施 ○定期健康診断の実施	
当初予算額	197,892 千円	決算額	191,318 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実			
H28事業計画		H28事業成果	
○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会		○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会	
当初予算額	1,315 千円	決算額	1,346 千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	219,969 千円	H28	210,704 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	444,033 千円	合 計	423,795 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に5月に配布し、各学校で指導するとともに、夏休み期間中に小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施した。生活習慣病健診は小学校4年生1,156人、中学校1年生766人、計1,922人が受診した。受診希望者が少ない学校に助言指導を行うなど学校へ働き掛けを行うとともに、マスクを利用して広報活動を積極的に行った結果、受診率は14.5%と昨年度より1.8%増加した。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を各学校で実施した。実施校数は小学校105校、中学校54校、中等教育学校1校、特別支援学校2校、幼稚園11校、計173校・園で実施した。この予防対策事業で実施していない学校においては、学校独自で学校歯科医や歯科衛生士などと協力してさらに力を入れた取組を実施しており、新潟市全体で充実した歯科教育を実施している。フッ化物洗口については、平成28年度は小学校8校で新規に実施することができ、小学校70校、中学校8校、幼稚園11園、計89校・園での実施となった。新規の実施に際して教職員及び保護者説明会、実施希望調査、洗口練習と段階を踏み、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、十分な理解を得たうえで進めることができたと考えている。

◎各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を予定どおり実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理、および健診後の指導に努めた。また、小学校入学予定者に対しては、就学時健康診断を円滑に実施した。

◎健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、性に関する問題、いじめや不登校、虐待など多岐にわたる健康課題の解決に向け、これらの的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や技量の向上のため、養護教諭研修、保健主事研修及び保健の授業づくりなど、充実した研修を実施した。

● 29年度の取組

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、要医療者には受診勧告を行い、要指導者には各区の担当部署と連携し健康相談への参加を促す。健診結果集計データを学校に通知し、学校における保健指導の資料に活用してもらいながら、平成29年度の健診対象者に前年度から勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行っていく。なお、高志中等教育学校4年生(後期課程)の生徒について、生活習慣指導を行い、小学校・中学校(前期課程)との継続指導を実施する。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、歯科衛生士の協力を得て、希望する校・園に歯科衛生士を派遣し、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施する。フッ化物洗口については、平成29年度の新規立ち上げ校小学校12校がフッ化物洗口を開始するための準備を着実に進めていく。フッ化物洗口を着実に広めていくことで、健康で丈夫な歯づくりを進め、う歯(むし歯)の有病者率を抑制していくことができると考えている。

◎各種健康診断事業については、定期健康診断及び精密検査の結果を集計し、学校保健統計資料を取りまとめるとともに、今年度の成長曲線・肥満度曲線の活用について、専門医の意見を聞きながら進めていきたい。

◎健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、性に関する教育研修会、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会を養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけて、充実した研修会を開催する予定である。また、がん教育についても、国の「がん対策推進基本計画」に沿って、平成29年度より進めます。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	2	92.9%
進捗状況	1.4	1.4	1.5					
指標2	給食の残食量の減少(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3.20	3.15	3.10	3.05	3.00	4	77.8%
進捗状況	2.80	2.70	3.30					
指標3	スクールランチ利用率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		68.7	68.7	69.2	69.6	70.0	4	99.4%
進捗状況	68.7	69.3	68.9					
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		15.8	15.8	15.8	15.9	16.0	5	99.4%
進捗状況	15.8	16.7	16.6					
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		36	37	38	39	40	5	100.0%
進捗状況	34	39	39					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「食に関する指導」推進事業		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者の派遣 ○「食に関する指導」研修会の開催, 公開授業の実施 ○研究推進校の指定(4校, H27-28) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者の派遣(17校, 延べ46回) ○「食に関する指導」研修会の開催(3回), 公開授業の実施(各学校) ○研究推進校の指定(4校, H27-28) 	
当初予算額	603 千円	決算額 330 千円
構成事業2 学校と家庭との連携強化事業		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育ミニフォーラムの開催(5月・11月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育ミニフォーラムの開催(7月・12月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催(各学校) 	
当初予算額	142 千円	決算額 28 千円
構成事業3 スクールランチ運営事業		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者派遣 ○試食会の開催 ○リクエスト及び募集献立, 出前講座の実施 ○スクールランチ運営委員会・食育推進部会 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育指導者の派遣の実施(17校で計46回) ○試食会, 説明会の開催(24回) ○リクエスト献立及び募集献立, 出前講座, スクールランチ運営委員会, 食育推進部会の開催 	
当初予算額	872 千円	決算額 325 千円
構成事業4 学校給食の充実事業		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○地産地消の推進 ○完全米飯給食の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○地産地消の推進(食材数ベース: 市産16.6%) ○完全米飯給食の実施(週4.5以上) 	
当初予算額	0 千円	決算額 0 千円
構成事業5 家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん料理講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん料理講習会の実施(39か所, 参加者1,133名) 	
当初予算額	611 千円	決算額 428 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	2,228 千円	H28	1,111 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,593 千円	合 計	2,717 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○「食に関する指導」推進事業については、食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図ることが出来た。食に関する指導研修会については、7月には市内の全栄養教諭等を対象に講義を行い、食指導の充実を図った。また、研究推進校の指定については、平成27年度に小中4校を指定し2か年に渡り研究を行っており、今年度は食育講座・出前授業・料理講習会・お弁当の日を実施し、食育効果をあげる研究に取り組んだ。

◎学校と家庭との連携・協力事業については、食育ミニフォーラムを7月に坂井輪中学校で、12月に東石山中学校でそれぞれ開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育効果を高めることが出来た。親子料理教室や給食だよりの発行は、各学校で行っており、保護者対象の懇談会や給食試食会を開催するなど家庭との連携を図った。

○中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣を17校46回行い、朝食の大切さ・スポーツ栄養・受験期の栄養についての講演会を行い、食の大切さについて考えてもらうことが出来た。また保護者を対象としたスクールランチの試食会を20校で行い、栄養バランスの整った給食や適切な栄養摂取について理解を深めてもらうことが出来た。スクールランチの運営改善を図るため、スクールランチ運営委員会を2回、食育推進部会を1回開催し、残食の解消や利用率の向上など改善についての意見交換を行った。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践したほか、市内産の給食食材の使用率向上について農林水産部や各区役所と連携し、地場産給食事業を各学校や給食センターで行っているほか、市場と連携し汎用性の高い馬鈴薯など市内産青果物の斡旋を各学校や給食センターに対し行ったり、7月～12月の標準献立において、地場産食材を多く取り入れた地場産推奨献立の回数を昨年度の月2回から3回に増やすなど地産地消率の向上に努めた。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、学校や地域と連携・協力しながら、料理講習会を39か所で実施。アンケート結果では、親子で食の大切さを学ぶ貴重な機会であった。地域の子どもと楽しみながら朝ごはんの大切さについて学ぶことができたといった声が寄せられ、基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

● 29年度の取組

○「食に関する指導」推進事業については、引き続き学校の要請に応じて食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図っていく。食に関する指導研修会は、11月に各校の給食主任の先生を対象に行い、研究指定校のこれまでの取組について発表を行う。これにより各校の食育の取組に役立ててもらふこととする。

◎学校と家庭との連携・協力事業については、食育ミニフォーラムを月潟小学校・潟東中学校で開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育効果を高めていく。また、引き続き給食たよりや学校たよりの発行や親子料理教室を通じて家庭との連携を図っていくほか、研究指定校については、家庭との連携強化を図りやすいお弁当の日・料理講習会・食育フォーラム・アンケート調査等を実施する。2月の市学校給食会の理事幹事会において研究成果を発表し、他の学校と成果を共有していくこととしたい。

○中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣や試食会を引き続き実施し、食の大切さについて理解を広めていく。また、食に対する関心を持ってもらうため「リクエスト献立」を11月、生徒が献立を考える「募集献立」を2月に実施し、スクールランチのPRと利用促進を図る。第2回のスクールランチ運営委員会を2月に開催し、運営改善や給食指導の向上をさらに図っていく。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践する。市内産の給食食材の使用率向上について、農林水産部や各区役所と連携を継続していくほか、毎月の標準献立に地場産食材を多く取り入れた地場産推奨献立を入れるなど地産地消の向上を図る。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業については、学校や地域と連携・協力しながら、おはよう朝ごはん料理講習会をコミュニティ協議会等と協働で実施するほか、ホームページや広報紙等を通して普及・啓発を図っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.2

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	継続支援終了者(のべ人数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22	32	42	52	62	5	116.7%
進捗状況	12	36	42					
指標2	若者支援者養成講座修了者(のべ人数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		101	101	191	231	231	5	145.8%
進捗状況	71	131	191					
指標3	中央育成活動回数(回)→H29～中央育成活動及び地域との合同育成活動回数(回)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		184	184	244	246	248	5	87.3%
進捗状況	171	275	240					
指標4	私の主張大会参加校(校数)→H29～私の主張大会参加団体数(団体)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	21	20	21	23	2	94.4%
進捗状況	17	18	17					
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	4	99.3%
進捗状況	21,011	20,516	20,365					
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	19	19	19	19	4	105.6%
進捗状況	19	18	19					
指標7							H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 若者支援事業	
H28事業計画	H28事業成果
○若者支援センター事業 ・相談事業・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営 ○若者支援者養成講座	○相談事業は,121件(面談実数), 面談延数792件, 延数は前年度比290件の増 ○若者支援者養成講座修了者延べ191人。第5期コースアドバイザーとして, 37名を委嘱
当初予算額 6,796 千円	決算額 6,819 千円
構成事業2 非行防止対策事業	
H28事業計画	H28事業成果
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行・被害防止キャンペーン	○青少年育成員による声かけなどの巡回を240回実施 ○青少年を取り巻く社会環境の実態調査を係団体等207名の協力を得て実施 ○街頭で関係団体等85名による万引防止の啓発を実施
当初予算額 4,488 千円	決算額 3,508 千円
構成事業3 青少年健全育成事業	
H28事業計画	H28事業成果
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催	○青少年健全育成講演会を若者支援養成講座の公開講座として開催(参加者70名) ○わたしの主張大会開催(市内17校から697編の応募)
当初予算額 3,643 千円	決算額 3,332 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○集団活動・体験活動事業等の実施 ○ジュニアリーダー講座の実施	○子ども向け各種体験事業の実施, ジュニアリーダー講座など, 258講座を実施
当初予算額 3,418 千円	決算額 2,630 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業	
H28事業計画	H28事業成果
○公民館の一室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○「居場所」を支えるスタッフ養成	○青少年の居場所づくり19館実施 ○長期休業中などの学習室の開放
当初予算額 284 千円	決算額 239 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	18,629 千円	H28	16,528 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	39,872 千円	合 計	35,354 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○平成28年度若者支援センター「オール」(以下、オール)の相談は、面談実数が121件、面談延べ数は792件あり、延べ数は前年度比290件増となった。これは、タイムリーで丁寧かつポイントを絞った相談を繰り返して、相談者の安定を図った結果である。

・居場所事業では5,285件利用者に関わりをもった。利用者の問題整理をしたり、利用者に寄り添い支援をしたりしている。また、ユースアドバイザー(以下YA)が利用者に対して年間延べ4,761回話し相手になることで利用者の心の安定につなげた。

・支援事業では、「聴く」「話し合う」ことに加え、自己を知り、省みるため「書く」「まとめる」ことを事業に加え、自己理解やコミュニケーション力の向上を図った。

○第5期YAの養成講習会を77人が受講した。内YAに48名が応募し、選考により37名を委嘱した。

○街頭育成活動を240回実施した。活動中の声かけは1,072回行った。内訳は問題行動に126回、店舗等での声かけ、賞賛を946回行った。その結果は、関係機関や学校に知らせ、啓発を行った。また、新潟駅南口におけるスケートボード関連で集まる青少年への声かけ、見守りを重点的に行った。

○非行・被害防止キャンペーンを実施した。市内小・中・高等学校から万引きとインターネットによる被害防止の標語を募集、表彰、活用するなど、啓発活動を充実させた。7、8月には社会環境実態調査を実施し、207名の調査員が市内全域の社会(有害)環境把握を行い、環境浄化活動や啓発、健全育成活動等に活かすことができた。

○わたしの主張大会を開催し、新潟市内中学校17校・697名の応募の中から12名が発表を行い、中学生の健全な心身の育成と市民が中学生の主張や行動に理解を深め、明るく活力ある社会の実現を図る一助とした。

○土日や夏休み・冬休みなど長期休みの期間を中心に、ものづくり、科学実験などや家庭ではできない集団活動、キャンプなどの野外活動などを実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、他校の生徒との交流により子どもたちの仲間づくりや社会性を育む機会となった。

○19か所の公民館で「子どもの居場所」を開設し、安全に安心して自由に過ごすことのできる場所を提供した。多くの公民館で遊びや勉強をして過ごす子どもたちの姿が見受けられ、公民館を知るきっかけにもなり、継続して利用する子どもたちも多い。

● 29年度の取組

○若者支援センターの利用のあり方やルールについて検討・実施していくとともに運営の方法の見直しを行う。社会的・職業的自立を視野に入れコミュニケーション力の向上や他機関と差別化した支援事業を検討・実施していく。若者相談・支援機関との連携を更に強め、支援を行う。特ににいがた若者自立支援ネットにおける相談や支援の改善・工夫を行い高校中退者の未然防止や高校生の支援に努めていく。

○第5期ユースアドバイザー37名の研修や情報共有を充実させ、オールでの若者の居場所支援の一層の充実を図る。

○街頭育成活動では、引き続き1日育成の日多くの市民が参加し、街頭育成活動や青少年育成員への理解や関心が高まるようPRに努める。また、市内各地域に青少年育成員が出向き、当活動の普及啓発を行う。

○非行・被害防止キャンペーンでは児童生徒に向けて募集した標語、ポスターの活用や市民へのPR、開会式への児童生徒の多くの参加を募ることで啓発や抑止活動を充実させる。社会環境実態調査では把握した内容の確認、点検、改善等を青少年育成員や健全育成団体等を行うことで環境浄化活動を推進する。

○青少年関係団体の育成及び活動への支援について、青少年育成協議会の研修会を開催し、青少年育成団体指導者の育成を図る。また会報を発行し、地域住民への広報と青少年関係団体事業の活性化を図る。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休みの期間に様々な体験活動事業を実施し、地域の大人や学年の異なる子どもたちと交流することで、子どもたちの豊かな心と社会性を育み、仲間づくりをすすめる。

○子どもたちに、公民館で学校や家庭以外の安全な居場所を提供するとともに、中学校や使用団体と連携したイベントを開催することで利用者の増加に努めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)					H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	97.7%
進捗状況	5,081	6,663	6,509					

指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
H28事業計画	H28事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	○子ども大凧合戦や新潟漆器の絵付け体験など地域の伝統文化の体験事業を実施
当初予算額 1,798 千円	決算額 1,266 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	1,798 千円	H28	1,266 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,523 千円	合 計	2,944 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦、巻の鯛車づくりなど、地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを知ってもらい、豊かな心を育み地域の魅力を再確認する機会とした。

● 29年度の取組

○引き続き、子どもたちに地域の文化や伝統を体験する機会を提供することにより、伝統・文化の素晴らしさと地域の魅力を継承することの重要性を理解してもらう。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	75.0	82.0			5	109.9%
進捗状況	74.5	73.8	81.1					
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.5	56.5	57.0			4	103.8%
進捗状況	56.0	54.6	56.7					
指標3							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業	
H28事業計画	H28事業成果
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施	○市立全小・中・高・中等教育学校へALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施 ○小学校, 中学校のTT授業を参観し, 協議会を実施
当初予算額 60,648 千円	決算額 59,742 千円
構成事業2 国際交流推進事業	
H28事業計画	H28事業成果
○受入: 中国ハルビン市 韓国ウルサン広域市 各児童生徒10名・引率者3名 ○派遣: ロシア ハバロフスク市・ビロビジャン市児童生徒16名・引率者3名	○中国ハルビン市・韓国ウルサン広域市から各児童生徒10名, 引率者3名を受入 ○ロシア ハバロフスク市・ビロビジャン市児童生徒16名, 引率者3名派遣
当初予算額 2,606 千円	決算額 2,182 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○小中高連携をテーマにした公開授業の実施 ○生徒・教員の英語力向上をめざした英検IBAの実施 ○外国語教育マネジメント研修の実施	○英語指導力向上に向けての研修協力校の公開授業や外国語教育マネジメント研修の実施 ○生徒・教員の英語力向上に向けた外部試験受験補助 ○大学教授等外部専門機関を招聘しての研修会の実施
当初予算額 1,986 千円	決算額 1,969 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	65,240 千円	H28	63,893 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	116,952 千円	合 計	136,629 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○文部科学省の「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」の取組として、今年度より「生徒の英語力向上」「英語担当教員の英語力、英語指導力向上」を目指した。

- ・小中高連携をテーマに協力校3校(上所小, 鳥屋野中, 万代高)による公開授業を行い、指導内容と評価法を見直した。その研修の成果を12月16日に行われた外国語教育マネジメント研修において、全小中高の英語科主任や外国語担当と共有した。
- ・8月に、現在の英語力の把握とさらなる英語力向上への意識高揚を図るため、中学校英語担当教員に対して英検IBA受検を行った。(140名の中学校英語担当教員が受検)
- ・中学校と高等学校の研修協力校の抽出生徒において、外部検定試験補助を行い、研修の成果を確かめ、改善に生かした。
- ・希望する教員に対し、英検受検補助を行い、教員の英語力向上を図った。(計23名)
- ・研修協力校3校の授業公開にあたり、外部専門機関から指導者を招聘し、授業案検討や当日の協議会において指導助言いただいた。(計7回)
- ・小学校と中学校の授業づくり研修会において、外部専門機関から指導者を招聘し、英語指導力の向上を図った。(計3回)

※英検IBA・・・英語検定を受検した場合、何級程度の力があるかを知ることができるテスト。児童生徒や教師が自分の英語力を知ること、自らの学習の目標を明確にするために実施するもの。

●29年度の取組

○小中高の研修協力校(上所小, 鳥屋野中, 万代高等学校)において、公開授業を実施する。継続して外部専門機関の指導者を招聘する。

○11月の外国語教育マネジメント研修で、外部専門機関の指導者1名を招聘し、小中高連携の取組について成果を発表する。

○研修協力校の抽出クラスで、外部検定試験の受検費用援助を行い、授業改善の成果と課題を明らかにする。

○英語検定を受検する教員(小中高)に対し、受験料補助を行う。

○研究協力校3校において外部検定試験の受験料補助を行い、取組の成果を把握する。

●推進委員からの意見・要望等

○ 外国語教育の改革が進んでいます。小学校3年生からの導入、現中学校3年生が臨む大学入試の改革等を踏まえて、市としての明確な考え方について教えてほしい。
⇒ 昨年度から小中高連携研究指定校を設置して校種を超えた英語指導の研究に取り組んでいる。また小学校で英語が完全実施される32年度を目途に、子どもたちの英語力を高めるために、計画訪問や要請訪問を通じて、子どもたちが協働性を発揮して学ぶアクティブ・ラーニングの推進を指導している。

○ 英検IBAを140名が受検しているが、全中学校英語教員のどれだけの割合になるか、また今後は、小学校や高等学校にも拡大していくのか。
⇒ 140名は全中学校英語教員の人数です。今のところ、中学校英語教員の力量向上を考えて実施している。

○ 小学校での外国語教育の拡大を踏まえ、今後、小学校教員に対する研修はどのように変わっていくのか、具体的に教えてほしい。
⇒ 毎年、小中1名の教員が文部科学省の研修を受け、市内の10数名の中核教員に6回の研修を通じて伝達しています。次年度はその中核教員が他の教員に伝えていく計画をしていく。
⇒ ALTにつきましては、現在の31名を、平成32年までに40名程度に増やす計画である。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.6	66.6	70.0		70.0	5	162.5%
進捗状況	65.7	60.3	98.0					
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	51.0	55.0		55.0	5	194.0%
進捗状況	50.0	50.0	97.0					
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	105.3%
進捗状況	92.0	95.0	100.0					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「タブレット等ICT活用研修(教職員研修)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新	○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○年間2回実施される研究主任研修会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	○年間2回実施する研究主任会での指導と支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○タブレット機器の新規導入校に、活用の基礎となる操作説明会を実施し、授業での活用を促した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続しているところである。学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広がっている。

● 29年度の取組

○タブレット導入校及び新規教材導入校には説明会を企画して、活用を推進する。同時に、総合教育センターではタブレット活用研修会を実施する。

○引き続き学校訪問等を通じて、「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業づくりを働き掛ける。また、第2回研究主任研修会で各校の取組について紹介・検討し合うことで、取組の充実を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	80.0		100.0	5	169.4%
進捗状況	-	42.5	72.0					
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1	1	1			4	100.0%
進捗状況	1	1	1					
指標3	環境教育事業の実施						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施				
進捗状況	-	実施	実施					
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		11	16	19			5	150.0%
進捗状況	7	12	18					
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5	5	5	5	5	4	100.0%
進捗状況	-	5	5					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】		
H28事業計画	H28事業成果	
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で83%、中学校で57%と確実に増えている。	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2 環境学習の充実		
H28事業計画	H28事業成果	
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定8校において実施 ○児童生徒に緑に親しみふれ合い、自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。	
当初予算額	1,200千円	決算額 1,194千円
構成事業3 環境教育事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○地域住民向け環境教育事業	河川等の環境美化活動や各地域の自然や環境の学習を実施し、延べ1,131人が参加	
当初予算額	316千円	決算額 362千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○1校多く6校で整備 ○1校で実施設計 ○5校で施設の実地体験実施	○1校多く6校で整備 ○1校で実施設計 ○5校で施設の実地体験実施	
当初予算額	125,388千円	決算額 120,851千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	126,904 千円	H28	122,407 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	242,725 千円	合 計	217,806 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○授業づくりにかかる各種研修会及び学校訪問を通じて、授業や教育活動をESDの視点から捉え直すことにより、これまでの取組に、「持続可能な社会の担い手を育む」という共通の目的を方向付けてきた。また、他の事業(防災教育学校・地域連携事業)と関連付けて、ESDの概念の理解を進めてきた。その結果、ESDを教育課程に位置付けた学校が70%になった。

※ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で『持続可能な開発のための教育』と訳されている。現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題がある。ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育である。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校4校(升潟小、早通小、白山小、岡方中)指定校9校(太田小、江南小、山潟小、横越小、小合小、白根小、立仏小、小瀬小、越前小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(横越小、太田小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校において身近な環境と水俣病との関連に気付き、子どもたちが住む地域の環境問題を自らの課題としてとらえる意識が高まった。平成29年2月22・23日には、環境学習支援事業全体発表会を開催した。そこでは、希望校と指定校13校が実践発表し、互いの成果を共有した。

○小学生を対象にした自然体験や地域住民に向けた身近な環境を学ぶ講座を実施し、自然や環境について考える機会を提供し、地元の自然環境の素晴らしさや環境保護の大切さを学ぶことができた。

○環境負荷への低減、自然との共生及び非常時の最低限必要なエネルギーの確保など、持続可能な環境教育の実施教材として太陽光発電及び蓄電池設備の設置について、予定通り実施した。また、各学校の環境教育の充実に向けた支援として、既に設置されている5校で実地体験研修を実施し、学習活動への活用を啓発した。また、地域の防災訓練時の非常電源利用として、地域住民への周知を図った。

●29年度の取組

○29年度も学校訪問等を通じて、ESDの視点からの授業や教育活動の改善推進を働きかけていく。また、広報等でESDの概念の理解をさらに広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら取組を進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導・支援すると共に、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を校長会を通じて働きかけていく。

○29年度も引き続き、学校と連携した環境教育や親子で体験する環境事業を、地域団体と連携して実施することにより、身近な環境や自然を考える機会を提供する。

○今年度予定されている事業を確実に実施するとともに、設備設置済み校において実地体験による学習活動への活用の啓発及び避難所運営時の活用について周知していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	4	100.4%
進捗状況	85.0	81.8	82.1					

指標2	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○日本語指導協力者の派遣	○日本語指導協力者を、延べ485回派遣	○日本語指導協力者を、延べ485回派遣	○日本語指導協力者を、延べ485回派遣
○母語が分かる支援者の派遣	○母語が分かる支援者を、延べ38回派遣	○母語が分かる支援者を、延べ38回派遣	○母語が分かる支援者を、延べ38回派遣
○協力者連絡会, 研修会の実施	○日本語指導協力者連絡会2回, 研修会を1回実施	○日本語指導協力者連絡会2回, 研修会を1回実施	○日本語指導協力者連絡会2回, 研修会を1回実施
当初予算額	2,142 千円	決算額	2,095 千円

構成事業2			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	2,142 千円	H28	2,095 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,571 千円	合 計	4,137 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○年度当初,日本語指導協力者連絡会を開催し,事業の実施について協力者及び学校関係者と共通理解を図った。

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名(25か校)に対して,延べ25名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数は,児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回~25回(1回2時間)としている。

○日本語指導協力者の指導により,日本語の上達だけでなく,対象児童生徒の生活が落ち着き,学校生活にスムーズに適応できるようになってきたという報告があった。

●29年度の取組

○毎年,年度途中の新規要請が増加している。今後も,日本語指導の新規要請があった場合は速やかに対処していく。

○日本語指導についての研修会,日本語指導担当者会を開催し,より効果的な事業の実施に努める。

○関係諸機関との連携を図り,協力者派遣が終了した児童生徒のうち,さらに支援が必要な場合に支援が継続できるような体制づくりを進める。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	5	98.1%
進捗状況	1,500	1,616	1,585					
指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○管理職研修, 幼稚園教員研修, 合理的配慮セミナーを3講座開催 ○通級指導教室を増設 ○必要に応じて介助員及び学校看護師を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職研修1回, 合理的配慮セミナー3回の開催 ○特別支援学級23学級及び通級指導1教室の増設 ○学校看護師の配置, 基準に応じた介助員の配置, 児童生徒の実態に応じた加配介助員の配置
当初予算額	377,487 千円
決算額	425,797 千円
構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	377,487 千円	H28	425,797 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	702,085 千円	合 計	882,598 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

- 28年度特別支援教育に関する教員研修は予定どおりに実施した。
- 管理職研修は、新潟市立学校園長を対象として、東北福祉大学教授を招聘し、特別支援教育と合理的配慮に関して、児童生徒一人一人の自立と社会参加の視点から講義を行った。
- 3回実施した合理的配慮セミナーは、それぞれの回の受講対象者を「特別支援教育コーディネーター+希望者」「教頭」「生徒指導担当者+希望者」とし、特別支援教育を学校体制として推進できるようにした。アンケートの評価、満足度も非常に高く、合理的配慮の提供に必要な校内支援体制、組織整備に関して、認識が高まった。
- 通級指導教室の整備は、昨年度東区の竹尾小学校に発達障がい通級指導教室を設けた結果、8区すべてに発達障がい指導教室が整備された。通級教室の利用を希望する児童は地域の教室を利用できるようになった。
- 市立明鏡高等学校の文部科学省指定事業「高等学校における通級指導教室の研究」について、3年間の継続研究の成果発表会を行い、県内外から163人の参加があった。
- 東西特別支援学校の児童生徒の居住地校交流は、年度初めの計画に沿って、進捗している。東特別支援学校で9人、のべ26回、西特別支援学校で16人、のべ50回の交流を行った。
- 医療的ケアが必要な3人の児童生徒に、学校看護師をそれぞれ配置している。
- 特別支援教育支援員を小学校に208人、中学校に62人、SSC(ソーシャルスキルコーチ)を発達障がい通級指導教室に9人、特別支援教育サポーターを8人配置した。この他に、クラスサポーターを配置し、延べ65校、309回支援している。

● 29年度の取組

- 特別支援教育に関わる教職員研修については、支援学級担任、コーディネーター、管理職など職位別に研修を実施し、特別支援教育を推進するための校内支援体制を整備する。参加者が特別支援教育、インクルーシブ教育システム、合理的配慮についての理解を深めることができるように努める。
- 発達障がい通級指導教室については、通級指導教室担当者会を定期的に行い、担当者の専門性の向上とネットワーク構築を図る。
- 29年度は30年度の高等学校通級の制度化に向けて、指導内容の選定等の準備を進める。
- インクルーシブ教育システム構築に向けて、東西特別支援学校の居住地校交流を積極的に計画・実施し、特別支援学校児童生徒の居住地における人的交流を推進する。
- 8区すべてに整備された発達障がい通級指導教室が連携を図り、情報共有をより一層進められるように、校長会等で広報する。
- 区教育支援センターとサポートセンターとが連携した学校訪問支援を実施する。
- 特別支援教育支援員、SSC(ソーシャルスキルコーチ)、特別支援教育サポーター、クラスサポーターなどを、各校の実情に合わせて配置・派遣し、個々のニーズに沿うよう支援する。
- 医療的ケアが必要な児童生徒に学校看護師を配置し、医療的ケアを適切に実施するとともに、医療的ケアが必要な児童生徒に安全安心な学びを保障する。

● 推進委員からの意見・要望等

- 「インクルーシブ教育システム」を推進する上で、特別支援教育支援員やソーシャルスキルコーチ、特別支援教育サポーター、クラスサポーター等の配置で、子どもを支援するための学校からの要請に応えられているのか。
⇒ 配置基準に沿って配置はできており、現状では足りているが、学校からは更に人手がほしいという要請があり、必要なところには配置をしている。
- 特別支援教育の教員研修はとても大切であるが、実際にどのような方法で行われ、受講した教員の割合はどの程度であるか。
⇒ 平成28年度は校長・教頭を対象に実施し、順次、管理職、特別支援教育コーディネーター、他の教員へと進めていく。概ね4,000人の教職員に対して、毎年1,500人ずつ実施していき、インクルーシブ教育システムの意義や求められている取組等の理解を図り、推進していく。
- 特別支援教育やいじめ対応の研修等では、危険性をもつ状況等を認知できる感性を育むことが大切である。聞くだけの研修でなく、様々な事例検討を通じた感性を磨く研修を目指してほしい。その際、特別支援教育サポートセンターや各区担当指導主事からアセスメント等を指導していただきたい。
⇒ 一人一人の職員が参画し、様々な事例から学んでいくことはとても大切であり、今後の研修計画に活かしていきたい。
- 予算額と決算額を見比べて、4,800万円ほど開きがありますが、特別支援教育支援員のような方を増やさないと対応できない状況だったからですか。
⇒ 特別教育支援員等は、予算時は基準配置ですが、年度途中での学校からの要請に応じてきた結果、増えた状況である。

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 合理的配慮のデータベース件数(累計)							H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	60	75	90	100	5	128.6%
進捗状況	40	49	63					

指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業	
H28事業計画	H28事業成果
○発達障がいサポート事業協力校の指定と授業実践, 成果合同発表会を開催 ○特別支援教育ボランティアの募集と配置	○サポートセンターによる534件の学校支援 ○合理的配慮の実態把握調査を実施し, 合理的配慮データベースに63件の追加 ○年間で174件の特別支援教育ボランティアの登録
当初予算額 1,120 千円	決算額 1,105 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	1,120 千円	H28	1,105 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	9,440 千円	合 計	11,683 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度 of 取組に対する評価

○小・中学校と保護者への相談、支援にあたった。学校からの依頼による特別支援学級への訪問や、保護者が来所しての相談、電話相談などを主な内容として取組を進めた。

○特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーターを核として、サポートネットワークを構築し、多様な視点から小・中学校の支援に努めた。

○学校・学級サポートチームとして、要請の内容によっては行動を共にして学校を訪問した。その際には、学級経営や個別の支援などについてのアドバイスを行った。

○通常の学級に在籍して支援を要する児童生徒と合理的配慮の実態把握のために、小・中学校に調査を行った。その結果、支援を要する児童生徒の在籍率は、平均して約6%であるという結果が得られた。また、各校から挙げられた合理的配慮の例として、家庭と連携した取組やICTの効果的活用、定期テストでの個別の配慮などの具体的な状況が分かった。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、ボランティアの募集を行い、申し込んだ方と学校とのマッチングを行い、取組を進めた。

● 29年度 of 取組

○特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーターを核としたサポートネットワークの充実を図り、小・中学校における、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を継続して行う。

○学校・学級サポートチームとして、要請のあった学校を訪問し、学級の荒れの要因を学習指導・生徒指導・特別支援教育の視点から分析し、必要な支援を行う。要因が特別支援教育にかかわる場合は、東・西特別支援学校と連携し、継続的な支援につとめる。

○合理的配慮の実態把握調査を実施し、合理的配慮データベースの整備を進める。さらに、調査結果を生かし、各校と有効な情報を共有すると共に、学校や児童生徒一人一人への具体的な支援、合理的配慮の提供に努める。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、引き続きボランティアの募集を継続する。各学校からのニーズを整理し、よりよいマッチングができるよう、進めていく。ボランティアの効果的な活用方法についての情報を収集・共有し、今後の取組に生かしていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	300	350	310				3	95.2%
進捗状況	280	331	315					

指標2	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標3	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標4	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標5	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標6	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標7	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

指標8	H28評価						H28評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】			
H28事業計画	H28事業成果		
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施	○区教育支援センターの担当指導主事が年間を通じた相談, ガイダンス, 就学相談会を実施 ○幼稚園・保育園と小学校の情報共有と就学支援のための「入学支援ファイル」の作成・活用		
当初予算額	0千円	決算額	0千円

構成事業2			
H28事業計画	H28事業成果		
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H28事業計画	H28事業成果		
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H28事業計画	H28事業成果		
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H28事業計画	H28事業成果		
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H28事業計画	H28事業成果		
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度 of 取組に対する評価

○各区の教育支援センターに配置されている就学支援教育担当指導主事が、就学相談の窓口となり、日常的に来所相談や電話での相談に対応している。また、随時幼稚園や保育園を訪問し、就学児の様子についての情報を、指導主事と学校間で共有できるように連携している。サポートセンターにおいても来所・電話相談に対応した。

○平成29年度就学予定児を対象にした就学相談ガイダンスを5月に各区ごとに実施した。また、指導主事が児童発達支援センター「こころん」、県立新潟聾学校を訪問し、就学相談ガイダンスを行った。

○7月下旬から8月上旬にかけて「夏季就学相談会」を各区で実施し、約350人の参加があった。

○就学支援を担当する指導主事が、就学前の保護者、幼児教育、保育、療育、相談機関からの希望を聞き、支援情報と学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」を保護者に説明・配付した。

○小学校新入生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において、「入学支援ファイル」の提出は315人であり、新入生の4.8%の提出である。特に特別支援学級在籍児童の提出は、90.2%であった。

○特別支援教育管理職研修や幼稚園研修において、就学支援や「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、保護者と学校との連携を促した。

●29年度 of 取組

○30年度就学予定児を対象に5月に就学児童ガイダンス、夏季と秋季に就学相談会を各区ごとに実施する。

○各区の教育支援センターに配置されている就学支援担当指導主事が、就学相談の窓口となり、日常的な来所相談、電話相談に対応する。特別支援教育サポートセンターにおいて、就学に関わる来所電話相談に対応する。

○5月に児童発達支援センター「こころん」、県立新潟聾学校、県立新潟盲学校で指導主事による就学相談ガイダンスを実施する。

○「入学支援ファイル」の目的と活用法を保護者、園、小学校に周知し、保護者と学校の連携を図るため以下の取組を進める。

- ・発達支援コーディネーター研修において、幼稚園、保育園のコーディネーターに「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、就学前の施設との連携をすすめる。
- ・就学支援担当指導主事が、ガイダンスや相談会を通じ、「入学支援ファイル」を保護者に説明・配付する。
- ・管理職研修及び特別支援教育コーディネーターを対象にした合理的配慮セミナー研修を実施し、「入学支援ファイル」を活用した個別の教育支援計画作成に向けた働きかけを行う。

●推進委員からの意見・要望等

○ 入学支援ファイルの活用について、新入生の4.8%は少ないと印象を受ける。幼稚園や保育園から子どもを受け入れる小学校は、もっと提出してほしいと願っているのではないかと。また入学支援ファイルを記入するのは保護者であるのか。
 ⇒ 全新生約6,000人の5%であれば300人。普通学級の在籍の児童であり、少ない数値ではないと考えられる。記入提出するのは保護者であり、任意の制度である。
 ⇒ 入学支援ファイルは、保護者に説明して、保護者の同意の下、担当教員も記載し、場合によっては療養施設や医師からも記載してもらっている。配慮を要する子どもは国の平均で6.5%であるが、4.8%の提出は様々な方の思いを引き継いだ良い提出状況と考えている。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	小中一貫教育推進協議会(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		発足	3	2			4	
進捗状況	-	発足	3					
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	4	8	24	40	4	
進捗状況	-	-	4					
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56		56	4	101.8%
進捗状況	-	55	56					
指標4							H28評価	
0	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況	-							
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】		
H28事業計画	H28事業成果	
○「小中一貫教育部会」において共通プログラムの検討 ○「幼保小連携部会」において、アプローチプログラム・スタートカリキュラムの検討 ○パイロット中学校区の追加指定(4中学校区)	○一貫教育推進協議会を3回実施 ○小中一貫教育部会、幼・保・小連携部会を各3回実施 ○にいがた共育通信第44号で新潟市の一貫教育について広報	
当初予算額	261 千円	決算額 187 千円
構成事業2 学校間連携推進事業		
H28事業計画	H28事業成果	
○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進	○各中学校区で校区内の小学校と共通の課題を明らかにし、課題解決のための組織づくりに取り組み、児童生徒の学習及び生活の状況について計画的に情報交換 ○学習活動や地域貢献活動を小中合同で実施	
当初予算額	0 千円	決算額 0 千円
構成事業3		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	261 千円	H28	187 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	375 千円	合 計	315 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○平成28年度の各中学校区における幼・保・小・中連携事業についての報告をまとめた実践事例集を編集した。(各学校への配付は29年4月)各学校では、他校の取組を参考に、自校の取組の改善に役立てることができるようになった。

○「小中一貫教育部会」を3回(平成27年度から通算5回目)開催した。4つのパイロット校における実践をもとに情報交換を行い、各校の実施内容と現状における課題などについて協議した。実践を通して、小中一貫教育を各中学校で進める際の共通プログラムと独自プログラムのイメージが明らかになってきた。また、第5回の部会では、平成29年度からのパイロット校にも参加してもらった。実践を始めるにあたって不明な点を確認することができた。

○「幼保小連携部会」では、今年度から新潟版アプローチカリキュラムの作成に向け、教育課程の編成を担当する主任級の委員を新たに加えることで、現場の声を反映させやすくなった。協議を通じて新潟版アプローチカリキュラムの概要が明らかになってきた。

○一貫教育推進委員、各部会委員及び事務局職員が、先進地である南魚沼郡湯沢町の「湯沢学園」に行政視察を実施し、施設面を含めて一貫教育の実際について具体的イメージを持つことができた。

○年度当初に、各中学校区ごとに、共通で行う「学び方」や「生活の仕方」の指導について確認し、小中の円滑な接続を意識した教育活動の展開に努めている。また、多くの中学校区で、夏季休業中に小中合同の研修会を行い、取組の工夫改善を行っており、小中一貫教育の実施に向けての意識は高まってきている。

● 29年度の取組

○平成28年度の4中学校区に加え、2小学校と1中学校からなる新たな4中学校区のパイロット校における実践を蓄積し、小中一貫の共通プログラムについて検討する。

○いくつかの幼稚園、保育園の具体的カリキュラムと文部科学省が示す目指す子どもの姿との整合性を整理し、5歳児後半のアプローチカリキュラム作成に取り組む。

○幼保小連携のモデル校・園を指定して実践を蓄積し、アプローチカリキュラム案の精度を高めていく。また、スタートカリキュラムのモデル実施の準備を進める。

○各中学校区における取組進捗状況を把握・整理して、その結果をすべての中学校区に知らせ、取組の更なる充実に生かしてもらうようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	95.0	100.0		100.0	5	111.1%
進捗状況	-	90.0	100.0					
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	40.0	70.0		70.0	5	240.0%
進捗状況	-	30.0	72.0					
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		27.3	90.0	100.0		100.0	5	123.2%
進捗状況	-	81.2	100.0					
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		18.1	63.6	90.0		90.9	5	165.1%
進捗状況	-	54.5	90.0					
指標5							H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 幼保小連携推進事業【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○幼保小連携の推進を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校との円滑な接続を見通した教育課程の検討・編成		○幼・保との連携の充実と小学校への円滑な接続を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校の接続を見通した教育課程・指導計画の作成	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2 幼保小合同研修会【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○幼稚園教員研修会の実施 ○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会の後援		○幼稚園教員研修会の実施 ○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会への指導・助言	
当初予算額	87千円	決算額	81千円
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	87 千円	H28	81 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	129 千円	合 計	153 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○6月6日,新潟市一貫教育推進委員会「幼保小連携部会」を開催した。公・私立幼稚園・保育園・小学校の代表で組織された委員によって,幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図るための「新潟市共通接続カリキュラム」の編成に向け,検討が始まった。

○8月4日,中之口幼稚園において新潟市幼保小連携推進事業合同研修会を開催し,西蒲区内小学校・公私立幼稚園・保育園の教員・保育士等57名が参加した。公開保育をもとにした協議と幼保小連携や接続に関する情報交換が行われた。幼児期の教育で大切にされていることをどのように小学校における教育へとつなげていくか参加者が熱心に協議した。

○8月22日,江南区文化会館において新潟市幼稚園教員研修会が開催され,公・私立幼稚園・保育園・小学校の教員139名による「特別支援教育」の視点からの連携・接続のあり方についての研修や各区における実情についての情報交換が行われた。「入学支援ファイル」の活用方法について共通理解を図ることができた。

○市立幼稚園教育研究協議会の研修会の際,アプローチカリキュラム作成について指導・助言し,幼小接続期カリキュラム作成への意識が高まった。

○幼ー小学校間での入学に当たっての情報交換が実施され,連携が深まってきている。

● 29年度の取組

○合同研修会における成果と課題を踏まえ,幼保小連携部会において,「新潟市共通カリキュラム」の作成作業に取り掛かる。平成29年度モデル校・モデル園により研究を進め,公開等により幼保小の連携を図る。

○市立幼稚園を中心に各園で行われる公開保育・研究会について,保育課と連携し,市内の全ての幼児教育施設に通知し,公開保育等を通して幼児教育の質の向上を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.6

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85	110	135	160	185	5	287.8%
進捗状況	61	74	213					
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	4	101.8%
進捗状況	96.0	98.2	100.0					
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	100.0		100.0	5.0	118.8%
進捗状況	85.0	84.2	100.0					
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	4.0	105.8%
進捗状況	3,341	3,148	3,331					
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	5.0	97.9%
進捗状況	71.5	95.0	93.0					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進			
H28事業計画		H28事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会, 外部講師派遣事業による支援の実施		○外部講師派遣事業による校内研修を40校, 学校支援課指導主事によるものを34校, 新発田隣保館現地学習によるものを4校実施	
当初予算額	170 千円	決算額	148 千円
構成事業2 男女平等教育の推進			
H28事業計画		H28事業成果	
○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料をデータで配付		○男女平等教育推進研究会を2回開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料を作成し, 各校にデータで配付	
当初予算額	20 千円	決算額	29 千円
構成事業3 公民館の人権教育			
H28事業計画		H28事業成果	
○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座 ○家庭教育学級における人権講座		○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座 ○家庭教育学級における人権事業	
当初予算額	792 千円	決算額	666 千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会			
H28事業計画		H28事業成果	
○人権教育研修会の開催(1回)		○人権教育研修会の開催(1回)	
当初予算額	73 千円	決算額	20 千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	1,055 千円	H28	863 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,000 千円	合 計	2,207 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○人権教育、同和教育校内研修会外部講師派遣事業は、10校分予算(講師謝金負担)のうち10校で事業を実施し、3校にも講師(旅費のみ負担)を派遣し、研修の充実が図られた。

○人権教育、同和教育中学校区要請研修会を10中学校区で実施し、研修の充実が図られた。

○新発田隣保館での人権教育、同和教育研修の紹介により、4校が研修を実施し、現地学習により研修が深まった。

○各校・園管理職対象の悉皆研修を、8月1日の新潟市人権教育研修会(生涯学習センター主催)と8月4日の新潟県同和教育研究集会妙高市大会(新潟県同和教育研究協議会主催)で実施し、管理職の人権問題や同和問題についての理解と認識が深まった。

○6月に男女平等教育学習資料のデータCDを作成し、市内の小中高등학교、特別支援学校に配付し、活用を促した。

○7月と2月に男女平等教育推進研究会を行い、男女平等教育学習資料の活用の様子と実践報告を行った。委員として12名が参加した。男性、女性の割合は半分ずつである。

○公民館では、男女共同参画社会を考える女性セミナーや人権を考える講座を実施するとともに、その他の公民館事業の中でも人権をテーマにした回を設けて人権意識の啓発を図った。

○人権教育研修会(曹洞宗・東岸寺(村上市)住職 野田 尚道氏による講演「ハンセン病の歴史から同和問題を考える」)を開催し、323名の参加があった。この研修会を通して、同和教育、同和問題に対する理解と知識を深めることができた。

●29年度の取組

○人権教育、同和教育校内研修会外部講師派遣事業を実施し、研修の充実を図っていく。

○人権教育、同和教育中学校区要請研修会を実施し、研修の充実を図っていく。

○11月に人権教育、同和教育担当者研修会を実施し、各校での推進を図ることができるようにしていく。

○8月3日(木)に開催される新潟県同和教育研究協議会「同和教育研究集会新潟市集会(会場:新潟市体育館他)」の準備を進め開催し、人権問題や同和問題についての理解と認識を深めていく。

○CDにより配付された男女平等教育学習資料の活用率は100%であった。活用例を紹介したり、事前事後アンケートを実施し、引き続き促し、100%の活用を目指す。

○1月に第2回の男女平等教育推進研究会を開催し、今年度の成果と課題を明確にする。

○来年度に向けて、男女平等教育学習資料の見直しを行う。

○公民館ではさらに、女性や子ども、障がい者等の人権について考える講座・講演会を実施するとともに、各講座の中で多様な人権について学ぶ回を設け人権意識の啓発を図る。また、公民館事業においては、人権に配慮した講座企画・運営を行う。

○市の職員や学校教職員等を対象に人権や同和教育への理解と認識を深めるための研修会を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参加者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	4	98.8%
進捗状況	22,459	23,654	23,360					

指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地区別世代間交流事業	
H28事業計画	H28事業成果
○地域で実施しているイベントやスポーツ大会を通じて, 世代間交流を進める支援	○各地域での運動会や各種スポーツ大会, 地域の祭りなどのイベントを通じて, 地域の世代間交流を促した。
当初予算額 1,007 千円	決算額 1,500 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	1,007 千円	H28	1,500 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,868 千円	合 計	2,549 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○各地域の特徴を生かし、地域団体等と連携しながら、様々なスポーツやイベントなど、地域の各世代が交流し、親睦を深める事業を実施した。(中地区公民館:夏まっさかりフェスタ, 横越地区公民館:横越地区親善スポーツ大会, 白根地区公民館:狸の婿入り行列, 湯東地区公民館:どろんこカップ)

●29年度の取組

○各地域の特色を生かしたイベントやスポーツ大会を通じて、世代間交流や国際交流を図る事業を実施し、地域住民の交流促進と相互理解を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	99.9%
進捗状況	90.2	94.5	94.4					
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	5	114.7%
進捗状況	24.5	24.5	28.1					
指標3	家庭教育学級数(講座)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	5	100.0%
進捗状況	63	68	68					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 家庭教育振興事業		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) ○家庭教育フォーラムの実施 ○乳幼児期家庭教育学級及びプレママ学級の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん料理講習会の実施(39か所, 参加者1,133名) ○子育て学習の出前講座の実施(小102校, 中16校) ○家庭教育フォーラムの実施(参加人数210名) ○出産前から思春期までの家庭教育学級 68事業 	
当初予算額	11,399 千円	決算額 10,827 千円
構成事業2		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	11,399 千円	H28	10,827 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	23,499 千円	合 計	22,385 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度 of 取組に対する評価

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、早寝早起き朝ごはん運動を推進し、学校や地域と連携・協力しながら、料理講習会を39か所を実施。アンケート結果では、親子で食の大切さを学ぶ貴重な機会であった、地域の子どもと楽しみながら朝ごはんの大切さについて学ぶことができたといった声が寄せられ、基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

◎子育て出前学習講座については、小学校102校、中学校16校において、就学時健診、新入生学校説明会、中学校では更にPTA行事に、家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。

◎家庭教育の大切さを再認識してもらい、家庭・学校・地域が連携して家庭教育力の向上を目指していくため、PTAと連携して家庭教育フォーラムを実施した。

◎乳児期から思春期までの子どもの成長期に沿った家庭教育学級や、プレママ学級、父親学級を実施し、子どもの発達課題など、子育ての知識や情報、親としての関わりなどを学び、親同士の仲間づくりによる子育ての孤立を防ぐなど、家庭教育力向上のための支援を行った。(乳児期家庭教育学級25講座、幼児期家庭教育学級24講座、児童期10講座、プレママ学級4講座、父親学級2講座など)

● 29年度の取組

◎早寝早起き朝ごはん推進事業に関連する講習会等を、学校や地域と連携・協力しながら実施するほか、ホームページや広報紙等を通して普及啓発を図って行く。

◎子育て学習出前講座については、就学時健診、新入生学校説明会や中学校では更にPTA行事に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図る。

◎引き続き、子どもの成長期にあわせた家庭教育学級を開催するとともに、休日に講座を開催することにより、平日の講座への参加が難しい対象者に学習機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育てフリースペースの開設(か所数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		13	14	14	15	15	5	112.5%
進捗状況	15	16	18					
指標2	保育者研修会の出席率(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0			4	99.8%
進捗状況	90.0	92.8	92.6					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業	
H28事業計画	H28事業成果
○子育て支援事業(絵本の読み聞かせ, 親子遊びなど) ○子育てフリースペースの開設 ○保育者研修会の実施	○子育て支援事業(親子遊びや情報提供誌の作成) ○子育てフリースペースの開設 ○全保育者を対象とした研修会
当初予算額 846 千円	決算額 759 千円
構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	846 千円	H28	759 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,719 千円	合 計	1,693 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○子育て中の親子が自由に安心して過ごせるように、子育てフリースペースを開設するとともに、絵本の読み聞かせや親子遊びを実施し、親同士の仲間づくりや悩みを相談できる場を提供した。

● 29年度の取組

○引き続き、子育て中の親子を対象に、気軽に参加できるような親子遊びなどのミニイベントを開催しながら、子育てフリースペースを開設する。

○母子分離による親の学習機会を保障するため、保育を実施し、保育室で活動する保育者を対象に、多様な家庭環境や社会形態を踏まえた支援ができるよう保育者研修会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 生涯学習相談件数(件)							H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	4	103.7%
進捗状況	297	296	307					

指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
H28事業計画	H28事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会	○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯学習情報の収集・提供及び学習相談数 307件 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者数 54名 ○パソコン初心者向け講習会
当初予算額 100 千円	決算額 101 千円

H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	100 千円	H28	101 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	215 千円	合 計	205 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎市民の生涯学習活動を支援するため、講師情報をまとめた生涯学習ガイドによる人材紹介を行った。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や学習相談及び出前による学習相談を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会及び専門学校との協働による講習会を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

● 29年度の取組

◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き生涯学習ガイドによる人材・講師情報の提供を図る。

◎市報やホームページ等による周知のほか、出前による相談を実施し、学習相談件数の増加を図る。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	5	91.8%
進捗状況	84.5	122.5	112.5					
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施				
進捗状況	-	実施	実施					
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施				
進捗状況	-	実施	実施					
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.2	12.4	13.2			5	100.0%
進捗状況	12.1	13.1	13.1					
指標5	レファレンス受付件数(件)						H28評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72,000	72,800	90,000			5	113.7%
進捗状況	69,600	83,157	94,580					
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1にいがた市民大学開設事業	
H28事業計画	H28事業成果
○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座	○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座
当初予算額 6,328 千円	決算額 5,945 千円
構成事業2現代的課題を学ぶ公民館事業	
H28事業計画	H28事業成果
○青年対象事業, 環境に関する事業, 高齢者問題に関する事業, その他市民ニーズのある事業の実施	○青年対象事業や高齢者の生きがいがつくり, 健康づくりの事業の開催 ○セカンドライフ農業体験事業の開催(4館)
当初予算額 3,283 千円	決算額 3,351 千円
構成事業3学習成果を発表する場の提供	
H28事業計画	H28事業成果
○文化祭や芸能祭などの開催	○各地域において文化祭や芸能祭を開催し, サークル活動等日頃の学習成果を発表する場を提供
当初予算額 3,314 千円	決算額 2,087 千円
構成事業4子どもの読書環境の整備	
H28事業計画	H28事業成果
○ブックスタート事業の継続 ○赤ちゃんタイムの実施	○ブックスタートを5,993人に実施 ○赤ちゃんタイムの実施館を8館から18館に拡大
当初予算額 5,271 千円	決算額 4,305 千円
構成事業5子どもが読書に親しむ機会の充実	
H28事業計画	H28事業成果
○子ども・親子を対象とした事業の継続 ○「うちどく(家読)」推進のための事業実施 ○ボランティア養成講座の開催 ○放課後児童クラブへの団体貸出図書搬送モデル実施	○「うちどく(家読)」推進のため「子ども司書講座」を実施し9名が参加 ○読み聞かせボランティア養成講座を実施し47名を養成 ○放課後児童クラブへの団体貸出図書搬送(21団体1,528冊)
当初予算額 486 千円	決算額 509 千円
構成事業6仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○起業・経営相談会の開催 ○ビジネス支援セミナーの開催 ○くらしの情報講座の開催 ○職員に向けたレファレンス研修の実施	○起業・経営相談会を28回開催し32名参加, ビジネス支援セミナーを2回開催し67名参加, くらしの情報講座を2回開催し15名が参加 ○職員向けレファレンス研修を2回実施し133名が参加
当初予算額 3,177 千円	決算額 3,127 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	21,859 千円	H28	16,197 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	40,678 千円	合 計	33,161 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

◎「いがた市民大学:市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○若者を対象に社会人としての能力を高め、他業種の人とのネットワークを広げる機会となる講座や高齢者の健康と生きがいづくりと地域社会参加への支援など、現代的課題の学習機会を提供した。講座受講生が、自主サークルを結成し、更に学習を進め、次年度の講座でスタッフとして参加するなど、学習成果が生かされている。

○公民館で活動している団体の、日頃の学習成果を発表する場として、文化祭や芸能祭を開催し、公民館利用団体等の活性化と学習意欲の向上を図った。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施
 ・赤ちゃんタイムの実施館を8館から18館に拡大し、赤ちゃんと来館する方が気軽に利用できる環境の整備を進めた。
 ・「うちどく」関連事業としてうちどく読書ノートを全館で8,712冊配布し、子どもたちが読書に興味を持ってもらえるよう働きかけを行ったほか、「うちどくブックリスト」を年齢別に6種類作成し、関係部署に送付した。
 ・図書館や学校などでの読み聞かせを行えるよう、読み聞かせボランティアを新たに47名養成した。

◎くらしや仕事の課題解決支援
 ・中小企業診断士協会新潟県支部と連携して「起業・経営相談会」を28回実施し、32名の参加があった。図書館司書も同席し、相談の内容に合わせた資料の紹介を行い、アンケートでも概ね好評を得ている。
 ・新潟IPC財団と共催で「ビジネス支援セミナー」を2回開催し、計67名の参加があった。同内容のセミナーを亀田図書館、巻図書館でも開催した。
 ・新潟県行政書士会と連携して「行政書士無料相談会」を51回開催し、54名の参加があった。同相談会を豊栄・亀田・新津・白根・坂井輪図書館でも開催し、多くの市民から参加いただくことができた。
 ・新潟雇用労働相談センターと共催で「くらしの情報講座」を2回開催したが、参加者数が伸びなかった。テーマ設定や広報の仕方などを工夫する必要がある。

●29年度の取組

◎「いがた市民大学:大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座などを合計5講座開設する。全講座で高校生以下を無料とした公開講座を実施し、市民が講座に参加しやすい環境作りに努める。また、フェイスブックを立ち上げ、更なる事業啓発を図る。

○引き続き、地域の現状や課題、市民ニーズを把握し、若者対象の事業や高齢者世代等への生きがいづくり・地域社会参加など、現代的課題の学習機会の提供を行うとともに、公民館利用団体や地区の団体に対する文化祭・芸能祭等の学習成果発表の場を提供する。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づいた事業の実施
 ・ブックスタート事業の関係課と協力し、継続実施する。次年度のブックスタート絵本の改訂に向け、絵本の選定を行う。
 ・子どもの読書活動を推進するため、民間やこども食堂との連携を進める。
 ・ティーンズ向けの「うちどくブックリスト」を新たに作成し、ブックリストを子どもの読書に親しんでもらえるよう様々な機会をとらえ活用を図る。

◎くらしや仕事の課題解決支援
 ・中央図書館で「起業・経営相談会」等の事業を引き続き実施し、課題解決のため図書館の情報を活用してもらえるようPRを行っていく。
 ・図書館の活用やレファレンス機能をPRするため、市民向けのレファレンスPR講演会を開催する。
 ・保護者の学習を支援するため、館内利用時の保護者向け保育サービスを開始する。

●推進委員からの意見・要望等

- 定員を上回る申込者のある「いがた市民大学」であるが、今後の開催のねらいを含めて、市民大学の意義を教えてください。
 ⇒ 民間団体等も各種の講座を行っている状況を踏まえて、今後も専門性の高い、また時代のニーズにあった内容で、学習機会を提供していく。
- 講座で学んだ学習成果を活かすための取組が大切である。そのために次年度の講座スタッフとして参加したり、自主組織で更に学んだりすることはあるのか。
 ⇒ 学んだことを、他地域や他団体等に入って伝えたり、共に活動したりする「学びの循環」は大切であり、主要な事業の1つとして取り組んでいきたい。
- 図書館事業の「赤ちゃんタイム」や「うちどく」が始まったきっかけや現状、課題などを教えてください。
 ⇒ 「赤ちゃんタイム」は乳幼児を連れて図書館に行けることを目的に、平成26年度に中央図書館で始め、現在は全19図書館で実施している。楽しみに来館していただき、来館者同士の交流も生まれている。
 ⇒ 「うちどく」は家庭内で家族と一緒に本を読んだり、感想を言い合ったり、家庭内の読書を勧める事業である。今後更に広く周知するため、ロゴマークの活用、ブックリストの広報、読書ノートの配布等を継続して行っていく。
- 予算決算について、予算額が2,185万円なのに対し、決算額が1,619万円で、500万円ほど少ないのはなぜか。予算を有効に使うことが大事ではないか。
 ⇒ 構成事業1「いがた市民大学開設事業」では、講師の旅費や講習等の単価による変動ためである。
 ⇒ 構成事業3「学習成果を発表する場の提供」では、事業費自体の検証はしていないが、例年並みと捉えている。
 ⇒ 構成事業4「子どもの読書環境の整備」では、全19館の積み上げが決算額であり、1館あたり数万円程度と受け止めている。

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)					H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	117.6%
進捗状況	41	51	60					

指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域課題解決への支援	
H28事業計画	H28事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○地域団体と連携し、地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し、地域活動を担う人材を育成した。
当初予算額 4,758 千円	決算額 3,929 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	4,758 千円	H28	3,929 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	9,710 千円	合 計	7,837 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○各館において地域団体と連携し、超高齢・少子社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業や地域課題を探り、解決に向けた事業を実施し、地域コミュニティが自ら課題解決に取り組み、まちづくりを進めて行くことができるよう支援した。

● 29年度の取組

○引き続き、地域の人材育成や絆づくりに取り組み、主体的に地域に関わるような事業を実施するとともに、地域づくりを担う人材の発掘と育成を図るコミュニティ・コーディネーター育成講座を全区で実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	5	105.2%
進捗状況	1,210	1,531	1,611					
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	102.3%
進捗状況	1.93	1.97	2.02					
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	4	100.0%
進捗状況	-	4	4					
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94			5	123.6%
進捗状況	66	72	89					
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業	
H28事業計画	H28事業成果
○本事業にかかる研修会の開催(第1・2研修会・教職員のみ対象の研修会・区研修, 新任コーディネーター研修, 校園長研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事合わせて延べ1,318名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を45校で実施
当初予算額 146,138 千円	決算額 148,801 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業	
H28事業計画	H28事業成果
○土曜プログラムをモデル校4校において実施し, プログラム検討会にて検討, 改善 ○土曜プログラム集IIを作成し, ふれあいスクール実施校に配付	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し, モデル校4校において実践。研修会にて, 実践発表 ○プログラム集の活用を広報し, 実施のための指導, 助言を行った。
当初予算額 40,780 千円	決算額 40,885 千円
構成事業3 公民館出前型事業	
H28事業計画	H28事業成果
○公民館出前型事業	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施
当初予算額 536 千円	決算額 502 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	187,454 千円	H28	190,188 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	377,441 千円	合 計	374,547 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報、区だより、HPを利用した事業の広報を行った。

・地域と学校ウェルカム参観日を45小中学校で開催。
 ・市報にウェルカム参観日の特集を掲載、区だよりでパートナーシップ事業記事を延べ34回掲載。

◎ふれあいスクール事業は、28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

・ふれあいスクール事業合同研修会(第1回研修会6月実施 参加者201名 うち放課後児童クラブ支援員52名、第2回研修会10月実施 参加者181名 うち放課後児童クラブ支援員40名)

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を3回(8月、11月、2月)行った。地域人材(スポーツ振興会や食生活改善推進委員)を活用したプログラムや、コミュニティ協議会の行事と関連させたプログラム、イベントに子どもが参画するプログラム等、提案性の高いプログラムとなった。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者248名)では、モデル校4校の実践発表を行った。また、プログラム集を活用するよう広報し、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行った。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターが連携しながら講座の企画運営を行い、防災講座や家庭教育講演会、パソコン教室などを実施し、地域住民が学校に入る機会を提供し、地域と学校の関係づくりを進めた。

● 29年度の取組

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解と、より質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメント研修を継続実施及び校内研修の支援を行う。

◎パートナーシップ事業に対する地域の理解を深めるため、地域と学校ウェルカム参観日を引き続き実施。地域コミュニティ協議会への事業周知を図る。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行うことで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるようモデル校4校において土曜プログラムを実施する。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業では、引き続き、公民館と学校や地域教育コーディネーターとが連携して地域住民向けの事業や児童も一緒に参加できるような事業を開催し、公民館と地域と学校をつなぐネットワークづくりを進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 地域と学校ウェルカム参観日は、昨年度16校から45校に拡大しましたが、参観者は何人だったのか。また授業参観日だからこそ増えたのか。

⇒ 45校で12,767人、昨年度と比べ約4倍となっている。通常の授業参観を拡大している場合もあるが、地域の方に来ていただくためにという場合もあり、各校で異なる。地域の方はおよそ3,000人が来校していた。

○ 地域の方が学校へ来校する取組は、コミュニティ協議会でやってもらうと、先生方の負担が減ると考えられる。

○ 地域の方が積極的に関わり、子どもたちと話し合う中で活動が行われていることもある。そこでは、子どもたちに身に付けさせたい力を考えることが大切であり、どのような取組で実現していくかは、地域の方からも参画いただき、共に考えることが必要であると思う。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16			4	100.0%
進捗状況	16	16	16					
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28		4	175.0%
進捗状況	8	32	56					
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						H28評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-	4	100.0%
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標4	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0				
進捗状況	-	-	-					
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○市内24中学校区で実施	○市内24中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○A4判見開き4ページ, 横書きカラー仕様, HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校・園・関係機関等321か所に毎回63,500部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○年間4回発行 ○教育委員会事業等, 教育に関わる様々な情報を発信 ○地域, 学校園, 社会教育施設の様子を発信 ○方針や様々な取組が分かったと評価
当初予算額 1,232千円	決算額 1,089千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,878 千円	合 計	2,553 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング
 ・上半期及び下半期それぞれ計画どおり各区1回、計16回開催した。
 ・6月から8月にかけて全区で第1回目のミーティングを実施した。今年度教育委員会が進める施策のうち、特に市民と協働して行う事業について情報提供をし、意見交換を行った。
 ・11月から1月にかけて全区で第2回目のミーティングを実施した。各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティング
 ・24中学校区で開催した。
 ・各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

○いずれのミーティングも教育委員が担当区のミーティング概要を教育委員全員と共有し、市全体の教育施策について検討・提言を行った。

○にいがた共有通信
 ・年間4回発行し、教育ビジョンの中心的施策や学校園、地域における活動、社会教育施設の取組を広報した。
 ・第41号(H28.6.30)では、「新潟市生活・学習意識調査」を基に、新潟市の子どもたちの生活状況を伝えた。
 ・第42号(H28.9.30)では、市立高等学校2校の特色ある教育課程や生徒の声を掲載し、高校生活の様子を伝えた。
 ・第43号(H28.12.16)では、権限移譲によって変わる新潟市の学校の変更点や、それに伴う取組等を伝えた。
 ・第44号(H29.2.28)では、新潟市が目指す一貫教育について、その概要や現状での取組を伝えた。
 ・平成28年12月16日(金)～平成29年1月31日(火)の期間において、「にいがた共有通信」に関わるアンケートを実施し、おおよそ肯定的な評価をいただくことができた。また、今後掲載してほしい事業等を集約することができた。

● 29年度の取組

○区教育ミーティング
 ・平成28年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。
 ・1回目のミーティングでは、平成29年度の特色ある施策について教育長から情報提供し、意見交換を行う。
 ・下半期は1回目のミーティングを踏まえたテーマや、各区独自の課題について意見交換をする。

○中学校区教育ミーティング
 ・各区3または4中学校区で実施し、平成30年度までに全中学校区を一巡する。
 ・テーマは「防災教育」とし、各中学校区で作成している防災教育プログラムへの理解を深めるとともに、より実効性のあるものにするための意見交換を行う。

○にいがた共有通信
 ・年間4回発行し、教育ビジョンの各施策実施における状況や、学校教育や社会教育における現状を広報する。また昨年度実施したアンケートでの意見も活用する。特集記事は、次の4回を予定している。
 ・第45号(H29.6.30) いじめを見逃さない学校づくりの取組について
 ・第46号(H29.9.29) ほんぼーと開館10周年記念事業、総合教育センター「タブレット等ICT活用研修」について
 ・第47号(H29.12.15) 教育フォーラム2017「大好きにいがた」について
 ・第48号(H30.2.28) 地域と学校園の防災教育やその取組について
 ・年末にアンケートを行うと共に、学校園の中から抽出アンケートを実施する

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.5

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,628	1,645	1,660	5	105.2%
進捗状況	1,210	1,531	1,611					
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	102.3%
進捗状況	1.93	1.97	2.02					
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	4	100.0%
進捗状況	-	4	4					
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56			4	100.0%
進捗状況	-	56	56					
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94			5	123.6%
進捗状況	66	72	89					
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	117.6%
進捗状況	41	51	60					
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○本事業にかかわる研修会の開催(第1・2研修会・教職員のみ対象の研修会・区研修、新任コーディネーター研修、校園長研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかわる研修会を開催し、学校担当者、地域教育コーディネーター、学社民融合支援主事合わせて延べ1,318名が参加 ○市民へ周知のため、ウェルカム参観日を45校で実施
当初予算額 146,138 千円	決算額 148,801 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○土曜プログラムをモデル校4校において実施し、プログラム検討会にて検討、改善 ○土曜プログラム集Ⅱを作成し、ふれあいスクール実施校に配付	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表。 ○プログラム集の活用を広報し、実施のための指導、助言を行った。
当初予算額 40,780 千円	決算額 40,885 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を実施 ○5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施 ○参加生徒延べ15,247名の生徒が受講
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,357 千円
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○公民館出前型事業	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施
当初予算額 536 千円	決算額 502 千円
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業	
H28事業計画	H28事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○地域団体と連携し地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう、支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し、地域活動を担う人材を育成した。
当初予算額 4,758 千円	決算額 3,929 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	199,612 千円	H28	200,474 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	400,551 千円	合 計	393,837 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの「学校支援ボランティア」の協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報、区だより、HPを利用した事業の広報を行った。

◎ふれあいスクール事業は、28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を3回(8月、11月、2月)行った。地域人材(スポーツ振興会や食生活改善推進委員)を活用したプログラムや、コミュニティ協議会の行事と関連させたプログラム、イベントに子どもが参画するプログラム等、提案性の高いプログラムとなった。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者248名)では、モデル校4校の実践発表を行った。また、プログラム集を活用するよう広報し、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行った。

◎アフタースクール学習支援員については、5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターが連携しながら講座の企画運営を行い、防災講座や家庭教育講演会、パソコン教室などを実施し、地域住民が学校に入る機会を提供し、地域と学校の関係づくりを進めた。

◎各館において地域団体と連携し、超高齢・少子社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業や地域課題を探り、解決に向けた事業を実施し、地域コミュニティが自ら課題解決に取り組み、まちづくりを進めて行くことができるよう支援した。

● 29年度の取組

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解と、より質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメント研修を継続実施及び校内研修の支援を行う。

◎パートナーシップ事業に対する地域の理解を深めるため、地域と学校ウェルカム参観日を引き続き実施。地域コミュニティ協議会への事業周知を図る。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるようモデル校4校において土曜プログラムを実施する。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎10月にアフタースクール学習支援員研修会を行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業では、引き続き、公民館と学校や地域教育コーディネーターとが連携して地域住民向けの事業や児童も一緒に参加できるような事業を開催し、公民館と地域と学校をつなぐネットワークづくりを進めていく。

◎引き続き、地域の人材育成や絆づくりに取り組み、主体的に地域に関われるような事業を実施するとともに、地域づくりを担う人材の発掘と育成を図るコミュニティ・コーディネーター育成講座を全区で実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

○「共生社会」や「学・社・民」等により、アウトリーチ型の支援が行われていると思うが、新潟市の事例等について紹介してほしい。
⇒ 地域との連携を大切にし、NPOの方々との連携は約半数の学校で行われている。大学や専門学校とでは53%の学校が連携している。連携内容は、生活指導や学力向上など学校の必要感に基づいて行われ、地域教育コーディネーターが連携先との橋渡しや内容の相談をしている。

○ コミュニティ協議会など、地域の組織等が参画していることはあるのか。
⇒ 昨年度、コミュニティ協議会と学校が連携して取り組んだ学校数は、153校であり、全学校の92%である。

○ 指標1「1校当たりの学校支援ボランティア(延べ人数)」とあるが、「児童生徒一人当たりのボランティア数」の方が、大規模小規模の学校規模に関わりなく、比較しやすい数値になるのではないか。
⇒ 児童生徒数に比例して増えるのではないかと考えています。そのため1校あたりの数値で示させてもらっている。

●H28施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	3	3			4	150.0%
進捗状況	1	2	3					
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	5	91.8%
進捗状況	84.5	122.5	112.5					
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		9	9	9	9	9	5	100.0%
進捗状況	9	11	11					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】	
H28事業計画 ○文科省指定「特別に支援を要する生徒に関する研究」を継続 ○文科省強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施 ○小中一貫教育の課題解決に向けての取組を推進	H28事業成果 ○文科省指定「特別に支援を要する生徒に関する研究」の実施 ○文科省強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」の実施 ○小中一貫教育の課題解決連携事業を推進した
当初予算額	0千円
決算額	0千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)	
H28事業計画 ○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座	H28事業成果 ○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座
当初予算額	6,328千円
決算額	5,945千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力	
H28事業計画 ○図書館の資料提供により, 企業, 専門団体等と協働を推進 ○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」の継続実施(予算は図書館ネットワーク費や読書普及事業費を含む)	H28事業成果 ○図書館の資料提供による共催事業実施や, 専門団体, 企業等との協働事業を実施 ○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの継続実施(予算はネットワーク費や読書普及事業費を含む)
当初予算額	0千円
決算額	0千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	6,328 千円	H28	5,945 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	12,842 千円	合 計	12,190 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○高等教育機関からの専門的な情報提供、指導を受ける3つの教育課題についての次のような取組を実施した。

- ・特別支援教育については、定時制高等学校において自閉症などの障がいのある生徒に対して、個々の状況の改善・克服を目的とした、個別の指導を取り入れていくための研究を推進し、効果的に個々の能力・才能の伸長ができるよう、各教科・科目の授業を改善した。
- ・外国語教育については、文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し、県外から指導者を招いて、授業を参観してもらうとともに、研究授業の指導案検討の際は、中・高の英語教師の指導力向上にむけての助言をもらった。
- ・小中一貫教育については、一貫教育推進協議会の小中一貫教育部会において、具体的な取組の検討を始めるところである。

◎いいがた市民大学：市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

◎新潟県立図書館、新潟大学附属図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を継続実施し、相互の所蔵資料を有効に活用できた。

◎新潟IPC財団や中小企業診断士協会新潟県支部、新潟県行政書士会、新潟雇用労働相談センターといった複数の関連機関と連携して事業を行うことで、図書館の資料に加え、市民に対して幅広い情報の提供ができた。

◎平成28年度より、新たに公益財団法人新潟市国際交流協会との連携による「外国語の絵本の読み聞かせ」、新潟薬科大学との連携による「図書館活用ゲームフィクション(図書館の活用方法を学ぶための大学生向け図書館ガイドンス)」を行い、好評を得た。

● 29年度の取組

○高等教育機関からの専門的な情報提供、指導を受ける3つの教育課題について、下半期は次のような取組を行う。

- ・各教科・科目等の授業は通常の教室で受けつつ、高等学校内に設置した特別な指導教室で、コミュニケーション力・人間関係の形成を養う「自立活動」の充実を引き続き図ると共に、今後高等学校でも行われる予定の「通級指導」に向けて効果的な指導について検討する。
- ・外国語教育においては、文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し、引き続き、県外から指導者を招いて、授業を参観していただく中で、小・中・高の英語教師の指導力向上にむけた助言をいただく。
- ・小中一貫教育について、専門的な情報提供や指導をもらえる具体的な取組について、引き続き、小中一貫教育部会で検討をしていく。

◎いいがた市民大学：大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座などを合計5講座開設する。全講座で高校生以下を無料とした公開講座を実施し、市民が講座に参加しやすい環境作りに努める。また、フェイスブックを立ち上げ、更なる事業啓発を図る。

◎新潟県立図書館、新潟大学附属図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を継続実施する。

◎多様な連携先と協働し、くらしに役立つ情報提供に努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	4	100.0%	
進捗状況	100.0	100.0	100.0						

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実	
H28事業計画	H28事業成果
○学校評価の定期的実施 ○学校評議員の全学校設置 ○学校マネジメント研修会の開催	○指導主事による学校訪問を年2回実施し、学校評価に基づく指導・助言を実施 ○学校評議員が全学校に配置され、学校評議員会開催による地域住民の参画の推進
当初予算額	0千円
決算額	0千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

- 全学校園から学校評価計画書が提出され、区担当指導主事による学校訪問での指導・助言で、学校園の課題解決に対する取組が推進された。
- 全学校園に学校評議員による学校評議員会が開催され、地域住民の参画が進んだ。
- 学校マネジメント研修会を4月25日に校長を対象に開催し、各学校園は課題の解決に向けて取組が進んだ。

● 29年度の取組

- 学校評価の進捗状況評価(中間評価)を10月に行い、地区担当指導主事による指導・助言を行っていく。3月には年度末評価を実施していく。その際、学校評議員の活用を図っていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
2.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習ボランティアの登録者数(人)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,386	1,392	1,175	1,200	1,225	2	85.9%
進捗状況	1,380	1,344	1,154					
指標2	公民館活動協力員との協働事業数(本)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		165	165	165	165	165	3	94.5%
進捗状況	140	163	154					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○生涯学習ボランティアの養成 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用		○生涯学習ボランティアバンク登録者数 1,154名 ○生涯学習ボランティアバンク派遣人数 422名	
当初予算額	124 千円	決算額	125 千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○活動協力員会議 ○事業企画・運営		○活動協力員との協働事業を開催 ○活動協力員の研修	
当初予算額	2,889 千円	決算額	4,936 千円
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	3,013 千円	H28	5,061 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	6,457 千円	合 計	10,370 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能等を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、登録されたボランティアの派遣を実施し、学びの循環を支援した。また、ボランティアバンク登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場の創出を図った。

○生涯学習ボランティア活動に興味、関心のある方を対象とした入門講座や、既に生涯学習ボランティアとして活躍している方を対象に、技量向上のためのスキルアップ講座を開催し、生涯学習ボランティアの学びの循環を促進した。

○各公民館において、地域の実情やニーズを事業に反映できるように、公民館活動協力員からの意見を反映させながら、事業の企画・運営を行った。

● 29年度の取組

◎生涯学習ボランティアバンクを市報やホームページ等を通して周知を行うほか、公民館や学校等と連携・協力して派遣を行う。また、引き続き、ボランティアバンク登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場の創出に努める。

○生涯学習ボランティア活動に生かす技法を学習し、地域で活動する生涯学習ボランティアを養成する入門講座や、技量向上のためのスキルアップ講座を実施する。

○引き続き、できるだけ多くの事業について、公民館活動協力員と連携して、地域の実情とニーズを取り入れながら企画し、事業実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
II型								
指標目標		34	68	102	136		4	202.9%
進捗状況	8	34	69					
指標2							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1【新規】		H28事業計画		H28事業成果	
○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し, 家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進				○「防災教育」学校・地域連携事業に35校を指定し, 各中学校区で3回以上のミーティングを実施し, 年度末に地域と連携した防災教育の自校化プログラムを作成 ○地域と連携した防災教育の取組が確実に広がってきた。	
構成事業2		H28事業計画		H28事業成果	
		当初予算額		千円	
		決算額		千円	
構成事業3		H28事業計画		H28事業成果	
		当初予算額		千円	
		決算額		千円	
構成事業4		H28事業計画		H28事業成果	
		当初予算額		千円	
		決算額		千円	
構成事業5		H28事業計画		H28事業成果	
		当初予算額		千円	
		決算額		千円	
構成事業6		H28事業計画		H28事業成果	
		当初予算額		千円	
		決算額		千円	

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	11,134 千円	H28	10,689 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	23,734 千円	合 計	19,820 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業推進校を35校指定した。各中学校区単位で防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成を進めている。

○5月には、各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。ここでは、新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて、防災教育の理念と防災教育の自校化についての説明を行った。また、平成27年度の「防災教育」学校・地域連携事業指定校による活動報告(4校)及び中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

○各指定校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

○各指定校35校が地域と連携した防災教育自校化プログラムを作成した。

※「防災教育」学校・地域連携事業は、新潟市教育委員会が新潟県「ふるさと新潟防災教育推進事業(学校実践)」を活用して行う事業で、平成27年度から平成31年度の5年間で、市内全小・中・中等教育・特別支援学校に対して、次のような支援を行う。

- ・各校の地域の特色を生かした「防災教育」の自校化プログラム作成のための支援
- ・防災教育実践に関する専門的な支援
- ・地域(コミュニティ協議会等)との連携に関してのサポート

● 29年度の取組

○各実践校で、系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、自校化した計画を継続して取り組めるように2月に研修会を開催する。

○「防災教育」学校・地域連携事業推進校を33校指定し、各中学校区単位で防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成を支援する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	4	100.0%
進捗状況	57.5	100.0	100.0					

指標2	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	H28評価						H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業	
H28事業計画	H28事業成果
○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の研修会を実施	○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の研修会を実施
当初予算額	0千円
決算額	0千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○各学校区ごとに地域住民や保護者と学校が連携し、子どもの見守りを目的とした「子ども見守り隊」を編成している。登下校時をはじめ、地域の実態に応じた見守り活動、子どもたちの安全確保を図っている。

○警察OBであるスクールガードリーダーを市内警察署管内に1名ずつ配置した。リーダーから学校を巡回し、児童生徒への安全指導のポイントを指導したり、見守り隊に指導的立場でアドバイスをしたりするなど、安全対策の質の向上が図られている。

● 29年度の取組

○見守り活動は、PTAはじめコミュニティ協議会等と連携を図り、各学校区の実態に応じた活動にしていくことで、「地域の子どもは地域で守る」という気運が一層醸成されるようになる。また、各学校では、行事に招待するなど、地域と学校、児童生徒と見守り隊とをつなぐ活動を推進し、学校と地域との連携強化を図っていく。

○各校の実施状況等をまとめ、校長会や教頭会、生徒指導会等で積極的に情報を提供する。それにより、学校と地域をつなげ、安心して過ごせるように環境整備に努めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						H28評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	-	-	-	4	100.0%
進捗状況	98.0	100.0	100.0	-	-	-		
指標2	H29～市立学校施設の非構造部材の耐震化促進(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	16				
進捗状況	-	-	-					
指標3	H29～市立学校施設のトイレ改修促進(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	13.0				
進捗状況	-	-	-					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○改築及び指定避難所耐震補強事業(校舎外壁・屋体屋根等耐震対策)を実施		○改築及び指定避難所耐震補強事業(校舎外壁・屋体屋根等耐震対策)を実施し, 耐震性のある安全な施設整備を行った。 ※額は, 大規模改修だけの工事費も含む。	
当初予算額	1,382,900 千円	決算額	1,273,048 千円
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業2			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	1,382,900 千円	H28	1,273,048 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	8,052,100 千円	合 計	8,606,287 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

- 耐震性のある安全・安心な学校施設整備を以下の学校で進めた。
- ・改築による耐震化1校(木戸小)
 - ・非構造部材の耐震化17校(校舎外壁:9校, 体育館屋根等:8校)

● 29年度の取組

- 引き続き,子どもの安全確保と避難所としての環境整備に向け非構造部材の耐震化及びトイレ改修の促進に取り組んでいく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0			4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0					
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H28評価	
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	102.3%
進捗状況	1.93	1.97	2.02					
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H28評価	
Ⅰ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	4	100.0%
進捗状況	-	4	4					
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56			4	100.0%
進捗状況	-	56	56					
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- Ⅰ型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- Ⅱ型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- Ⅲ型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- Ⅳ型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 就学援助事業	
H28事業計画	H28事業成果
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配付	○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配付
当初予算額 1,232,449 千円	決算額 1,160,139 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)	
H28事業計画	H28事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○募集時に学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付を行うとともに、市内の高校を通じて来年度の進学予定の高校3年生に案内チラシを配付	○奨学金の貸付(291名)、返還 ○募集時に学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付を行うとともに、市内の高校を通じて来年度の進学予定の高校3年生に案内チラシを配付
当初予算額 127,382 千円	決算額 115,935 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業	
H28事業計画	H28事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付	○奨学金の貸付(17名)、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配付
当初予算額 8,000 千円	決算額 6,800 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○土曜プログラムをモデル校4校において実施し、プログラム検討会にて検討、改善 ○土曜プログラム集Ⅱを作成し、ふれあいスクール実施校に配付	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表 ○プログラム集の活用を広報し、実施のための指導、助言を行った
当初予算額 40,780 千円	決算額 40,885 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を実施 ○5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施 ○参加生徒延べ15,247名の生徒が受講
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,357 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	1,416,011 千円	H28	1,330,116 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	2,879,825 千円	合計	2,743,164 千円

注:再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○就学援助事業は、小・中学校を通じて保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を4月及び10月の年2回配付し周知を図った。児童生徒数59,162人のうち、認定した16,043人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

○奨学金貸付事業は、募集人数120人に対し、98人の申請があった。そのうち選考基準を満たした93人について採用を決定し貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。制度周知の強化を図るため、市内の高校を通じて、来年度に進学予定の高校3年生の約8,000人に対して、拡充した返還特別免除制度についての情報が掲載されている案内チラシを配付した。

○社会人奨学金貸付事業は、募集人数10人に対し、7人の申請があった。申請者全員について採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクール事業は、平成28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者201名 うち放課後児童クラブ支援員52名、第2回研修会10月実施 参加者181名 うち放課後児童クラブ支援員40名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を3回(8月、11月、2月)行った。地域人材(スポーツ振興会や食生活改善推進委員)を活用したプログラムや、コミュニティ協議会の行事と関連させたプログラム、イベントに子どもが参画するプログラム等、提案性の高いプログラムとなった。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者248名)では、モデル校4校の実践発表を行った。また、プログラム集を活用するよう広報し、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行った。

○アフタースクール学習支援員については、5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

●29年度の取組

○就学援助事業は、小・中学校を通じて、保護者全員に「就学援助制度」の案内チラシを引き続き年2回配付し、制度周知を図る。

○奨学金貸付事業は、貸付中の対象者については在学証明書提出依頼時に、返還対象者については納付書発送時に、「返還特別免除制度」についての案内チラシを同封し、経済的支援、本市への定住促進のPRを図る。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるようモデル校4校において土曜プログラムを実施する。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

○生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H28評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	4	200.0%
進捗状況	5.0	34.0	68.0					
指標2	教育ネットワークの構築						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発		
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校ICT環境整備事業			
H28事業計画		H28事業成果	
○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末未含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末未含)		○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末未含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末未含)	
当初予算額	809,582 千円	決算額	796,482 千円
構成事業2 教育ネットワーク構築事業【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○教育ネットワーク構築に係る調査研究		○教育ネットワーク構築に係る調査研究	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	809,582 千円	H28	796,482 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,559,857 千円	合 計	1,531,683 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度 of 取組に対する評価

○教育用コンピュータ, 校内LANコンピュータの更新は下記の計画どおりに実施されている。更新作業は10月31日までに終了。
 ・更新計画 … 教育用コンピュータ 58校 2,438台(内タブレット550台)
 / 校内LAN用コンピュータ 101校 567台(内タブレット480台)

○教育ネットワークの導入については, 導入内容の検討を行った。

● 29年度 of 取組

○教育用コンピュータ, 校内LAN用コンピュータの更新を予定どおりに終了する。
 ・タブレット端末の設置校が増加することで, ICTを活用した授業が拡大すると思われる。

○教育ネットワークの導入については, 関係課と協議し, 今後の導入に向けた検討を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

○ タブレット型コンピュータの配置完了時の状況について, 教えてほしい。また協働的な学びや集団性を高める取組のためにはとても有効な機器であるため, 更に使いやすい環境にしてほしい。
 ⇒ 平成30年度までに, 小中学校各校に10台ずつの配置が終了する予定である。授業等で十分に活用できる状況になると考えている。

●H28施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 ボランティア室整備学校(累計校数)							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	47	57			5	110.9%
進捗状況	43	46	51					

指標2							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 ボランティア室等の整備	
H28事業計画	H28事業成果
○増築・大規模改修に伴い5校で整備 ※金額は、大規模改修等の一部につき省略	○増築・大規模改修に伴い5校で整備 ※金額は、大規模改修等の一部につき省略
当初予算額	0 千円
決算額	0 千円

構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○コミュニティの拠点となるボランティア室の設置について、大規模改修工事のなかで、計画より4校多く整備した。
 ・整備校は5校(南万代小, 西内野小, 日和山小, 亀田小, 巻西中)

● 29年度の取組

○引き続き改築や大規模改修工事に合わせ、ボランティア室の整備をすることで、コミュニティの拠点としての学校施設整備を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
1.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	12	16			1	42.9%
進捗状況	15	14	6					

指標2	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	大規模改修整備校数(校)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築・新築, 大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○大規模改修工事を12校で実施		○大規模改修工事を6校で実施した。 (当初国補助が見送られたため, 事業実施が縮小された)	
当初予算額	3,277,000 千円	決算額	1,933,387 千円

構成事業2			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	3,277,000 千円	H28	1,933,387 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	7,301,400 千円	合 計	5,671,687 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○当初国補助が見送られたため、事業規模が縮小した。
 ・当初予算で11校についての国補助が見送られたが、緊急性の高い3校及び前年度繰越分3校について事業を実施し、安全で快適な教育環境の整備を推進した。

29年度の取組

○前年度の国の補正予算により、見送られていたものも含め16校の追加内示があり、本年度実施する。
 ・引き続き、安全で快適な教育環境の整備を進めるため、大規模改修工事を実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	4	103.7%
進捗状況	297	296	307					
指標2	図書館資料予約件数(件)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		694,000	706,000	718,000	731,000	743,000	5	102.8%
進捗状況	643,178	726,836	747,277					
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌, AVを含む)貸出点数(点)						H28評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5.82	5.92	6.02	6.12	6.22	4	97.3%
進捗状況	5.71	5.83	5.67					
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況	-	実施・閲覧	実施・閲覧					
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)	
H28事業計画	H28事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会 当初予算額 100千円	○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯学習情報の収集・提供及び学習相談数 307件 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者数 54名 ○パソコン初心者向け講習会 決算額 101千円
構成事業2 図書館サービス向上事業	
H28事業計画	H28事業成果
○配本車の継続運行 ○利用者用回線の高速化(ADSLの11館を光回線化)	○配本車の継続運行 ○利用者回線の高速化(ADSLの10館を光回線化) ○図書館情報システムの維持管理
当初予算額 113,908千円	決算額 110,720千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○越後佐渡デジタルライブラリーへの参加と, デジタルアーカイブ公開資料の拡充(平成28年度予算はシステム経費に含まれる)	○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○越後佐渡デジタルライブラリーへの参加と, デジタルアーカイブ公開資料の拡充(平成28年度予算はシステム経費に含まれる)
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	114,008 千円	H28	110,821 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	263,316 千円	合 計	254,761 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

◎市民の生涯学習活動を支援するため、講師情報をまとめた生涯学習ガイドによる人材紹介を行った。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や学習相談及び出前による学習相談を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会及び専門学校との協働による講習会を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎図書館情報システムを平成27年度に切り替えた後、予約が増え続けている。平成27年7月からスマートフォン専用ページがスタートし、利用者向け蔵書検索機能や予約機能の利便性が高まったため、予約の件数が増加した。

◎合併建設計画による図書館新館建設の終了や、活字離れなどの要因により、これまで増加傾向にあった個人貸出の利用が伸び悩んだ。

◎図書館の利用者用回線の高速化(光回線化)を行い、松浜図書館を除くすべての図書館で利用者用回線が光回線となった。
※松浜図書館は、平成29年度に施設管理者の準備が完了次第、光回線工事を行う。

● 29年度の取組

◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き生涯学習ガイドによる人材・講師情報の提供を図る。

◎市報やホームページ等による周知のほか、出前による相談を実施し、学習相談件数の増加を図る。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校と協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

◎電子図書館機能の整備のため、引き続き郷土資料のデジタルアーカイブ点数を増やしていく。平成29年度は、中央図書館の2点、新津図書館の7点を予定している。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	85.0	85.0			4	100.6%
進捗状況	80.0	87.0	87.5					
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		102	108	110	120		4	106.8%
進捗状況	102	103	110					
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		7	7	7			4	100.0%
進捗状況	7	7	7					
指標4							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実		
H28事業計画	H28事業成果	
○基本研修 ○専門研修 ○ステップアップ研修(マイスター養成塾・若手教師道場)	○基本研修 14講座 2,201名 ○専門研修 71講座 3,967名 ○キャリアステージ研修(マイスター養成塾・若手教師道場) 29講座 1,332名 (計114講座 7,500名)	
当初予算額	6,332 千円	決算額 4,732 千円
構成事業2 学社民融合研修の推進		
H28事業計画	H28事業成果	
○パートナーシップ事業研修会(2回)・新任地域教育コーディネータ研修会(2回)○ふれあいスクール研修(3回) ○公民館改革職員研修(1回) ※1項目, 2項目目の当初予算額はシート9-(1)に掲載	○パートナーシップ事業研修会(3回)では延べ1,318名が参加 ○ふれあいスクール研修会(3回)では, 放課後児童クラブ支援員を含め延べ630名が参加 ○公民館改革職員研修を1回開催, 122名が参加	
当初予算額	150 千円	決算額 60 千円
構成事業3		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額		決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,034 千円
H28	6,482 千円	H28	4,792 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	12,649 千円	合 計	8,826 千円

注：再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○前年度より6講座減らしたために、参加人数は減ったが、受講者の評価は高い数値を維持することができた。法定研修・若手教師道場での「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持したこと、学校のニーズに応じた研修講座を提供したこと、参加型の研修方法を工夫したことが評価されている。

○マイスター養成塾では、研修期間を平成27年度より原則2年間とした。平成27年度入塾生8名のうち、1名は平成27年度にマイスター認定となり修了、他の7名は平成28年度に修了となった。8名のうちマイスターに認定されたのは6名で、75%の認定率であった。マイスター認定者を一人でも多く輩出できるよう、指導主事研修を充実させたり、外部指導者を依頼して全ての受講者の専門教科に対応したりした。

◎パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が延べ98名参加して地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

・パートナーシップ事業研修会(第1回研修会5月9日・18日・19日 参加者540名、うち学社民融合支援主事38名、図書館職員11名:校長研修会166名 第2回研修会11月28日・12月6日 参加者487名、うち学社民融合支援主事30名、図書館職員19名)

・研修幹事会を7月に実施、区研修を各区7月～8月に1回以上実施した。

◎新任地域教育コーディネーターの事業理解とスキルアップを図るため、4月・2月に新任地域教育コーディネーター研修を開催した。また、新任地域教育コーディネーターを支援するため、経験豊富な地域教育コーディネーターをアドバイザーとして各区に配置した。

◎ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。(ふれあいスクール研修会6月201人 10月181人 2月248人 参加)

○公民館職員のスキルアップを図るため日常業務力量研修を開催した。(公民館改革職員研修:11月20日、参加人数122名)

● 29年度の取組

○高校教諭対象の研修と中堅教員対象の研修講座を新設するとともに、新しい学習指導要領に対応する研修講座を充実させた。また、「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」対象者が前年度より約70名増加するが、今年度も堅持することとした。受講者の満足度・活用度のA評価(4段階)85%以上を目標に、内容の精選、研修方法の工夫などに取り組む。

○マイスター養成塾では、平成28年度入塾者8名全員の修了と、75%以上の認定を目指し、指導主事の指導力のさらなる向上と複数体制での指導など、認定授業までの指導・支援を充実させる。

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメントに関する研修を年1回継続実施及び校内研修の支援を行う。地域連携を進める上での課題をテーマに、年2回パートナーシップ事業研修会を実施予定。

◎新任地域教育コーディネーターの事業理解とスキルアップを図るため、新任地域教育コーディネーター研修を年2回開催予定。

◎ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるため、運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める(年間3回開催予定)。

○公民館職員のスキルアップをはかるため公民館改革職員研修を開催する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		65.0	66.0	66.0			4	98.6%
進捗状況	64.2	65.8	64.9					
指標2	教職員の病気休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患者の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		41.5	41.5	38.0			5	107.6%
進捗状況	43.9	42.1	38.9					
指標3	支援を要する教職員(人)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	14	13			4	106.7%
進捗状況	15	15	14					
指標4							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 多忙化解消対策の推進		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○多忙化解消に向けた取組に関する調査の実施 ○1校1取組の実施 ○校長会等での意識啓発 ○文書量調査の実施(年間) 	<ul style="list-style-type: none"> ○多忙化解消に向けた取組に関する調査の実施 ○1校1取組の実施 ○校長会等での意識啓発 ○文書量調査の実施(年間) 	
当初予算額	124 千円	決算額 81 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○心と体の相談室 ○メンタルヘルス研修・講座 ○職場復帰支援プログラム ○教職員健康管理委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体の相談室(相談4件) ○メンタルヘルス研修・講座(6回・約270名受講) ○職場復帰支援プログラム(対象者延7名) ○教職員健康管理委員会(審査延37件) 	
当初予算額	697 千円	決算額 423 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修		
H28事業計画	H28事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ○研修者の状況に応じた研修計画の作成, 研修の実施 ○校長長との定期的な面談の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修者の状況に応じた研修計画の作成, 研修の実施 ○校長長との定期的な面談の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会(2月実施) 	
当初予算額	147 千円	決算額 58 千円
構成事業4		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H28事業計画	H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	968 千円	H28	562 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,957 千円	合 計	1,398 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進
 ・管理主事による学校訪問や校長面談において、学校園の多忙化解消の取組状況の把握と指導を行った。
 ・校長会等において、校長等の多忙化解消に関する意識の啓発を行った。
 ・子どもと向き合う時間が5時間以上の職員の割合は、65.8%から64.9%と微減となったが、一昨年の64.2%は超えている。直近4年間は、ほぼ横ばいの状況である。
 ・全校で1校1取組を実施した。また、取組を集約し、学校訪問等での支援に活用した。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・各種メンタルヘルス研修会の実施による教職員への啓発、健康管理委員会からの助言の学校現場への反映、精神疾患による休職者に対する職場復帰支援プログラムの実施、メンタルヘルス相談窓口の開設等を行うことで、精神疾患による病気休暇・休職者数が減少するとともに、全病気休暇・休職者に占める割合も低下した。

○支援を要する教職員の研修
 ・支援を要する教職員の人数は前年度より減少し、目標を達成することができた。
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し、校長と連携して校内研修の充実を図るとともに、学校からの要請により総合教育センターと連携して支援を要する教職員に対する研修を行って、指導力向上を図った。

● 29年度の取組

○多忙化解消対策の推進
 ・多忙化解消に向けた取組に関する調査を実施する(学校・個人について経年変化)。
 ・一校一取組の報告を含む調査結果を分析・評価し、それに基づき、成果をあげた取組やそのポイントを示し、学校園の支援を行う。
 ・教育委員会内で、多忙化解消に向けた取組の連携会議を実施する。
 ・出勤管理システムにより教員の勤務時間を適正に把握した上で多忙化解消に向けた対策を講じる。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・健康管理委員会を月1回開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。
 ・精神疾患による病気休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを実施する。
 ・メンタルヘルス相談を実施し、教職員の心と体に関する不安軽減と健康保持増進を図る。

○支援を要する教職員の研修
 ・校園長からの聞き取り等を通じて、支援を要する教職員に関する情報収集に努める。
 ・学校からの相談に応じて、教職員の状況に即した指導力向上研修を個別に実施する。
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催する。

● 推進委員からの意見・要望等

基本施策	12	市民に信頼される教育関係職員の育成	施策(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置 (p.60)
------	----	-------------------	-------	-----------------------------

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数※)※現状はH27年度採用予定者数						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4.2	4.9	3.6			3	78.2%
進捗状況	4.1	5.5	4.3					
指標2	女性管理職等(教頭, 主幹教諭, 主任)の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		38.0	38.0	37.0		40.0	4	102.5%
進捗状況	36.0	35.4	36.3					
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスターのいる市立学校の割合						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		28.0	30.0	33.0			5	110.8%
進捗状況	27.8	29.5	32.7					
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- Ⅱ型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- Ⅲ型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- Ⅳ型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教員採用選考検査			
H28事業計画		H28事業成果	
○教員採用選考検査の実施		○中学校・高校共通採用による教諭の採用を含めた採用選考検査の実施	
○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成		○平成29年度実施教員採用検査の骨格完成	
○人材確保のための工夫・改善		○人材確保のための工夫・改善について検討	
当初予算額	4,264 千円	決算額	4,190 千円
構成事業2 管理職選考検査			
H28事業計画		H28事業成果	
○管理職選考検査の実施		○管理職選考検査の実施	
○翌年度の管理職選考検査の計画案作成		○翌年度の管理職選考検査の計画案検討	
○女性管理職の人材育成		○主任層への女性教員の抜擢, 女性教員への啓発等	
当初予算額	130 千円	決算額	102 千円
構成事業3 適材適所の人員配置			
H28事業計画		H28事業成果	
○新異動方針・基準の周知徹底を図るとともに, 全市的視野に立ち, 校種間の連携を促進するために, 異校種間の異動を積極的に推進		○新異動方針・基準の周知徹底	
○学校課題に即した非常勤講師の配置		○校種間の連携を促進するための異校種間異動を積極的に推進	
		○学校課題に即した非常勤講師の配置	
当初予算額	11,856 千円	決算額	8,984 千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	16,250 千円	H28	13,276 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	35,318 千円	合計	26,284 千円

注：再掲事業分を含む

●28年度の取組に対する評価

○教員採用選考

- ・特別選考の区分の拡大に加えて、第1次検査に加点制度(資格・免許)の拡充を図り、必要な人材確保を工夫した。
- ・高等学校教諭を中高共通枠で募集し、必要な人材確保が行えた。
- ・採用案内の刷新や採用選考検査ガイダンスの実施を通して、人材確保のための啓発を図った。出願人数が前年度の405人から387人と微減、募集人数が前年度の74人から90人と増加したため、指標目標を達成することができなかった。

○管理職選考

- ・民間人面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した管理職選考検査を実施し、人物重視の登用をすることができた。
- ・公募校長選考では、新規3名の応募があった。(採用はなし)

○人事異動・人員配置

- ・人事異動会議での校長からのヒアリングを通して、正規・非常勤の教職員の能力や各学校課題を把握するとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりに向け職住近接を考慮し、居住区、隣接区への配置に努めることができた。
- ・県から市への転入を希望する教職員については、人事異動登録票の提出を義務付けた。
- ・今年度の県との人事交流は、県への転出教職員数(教諭、養護教諭、事務職員)は72名、県からの転入教職員数169名である。市内に自宅があり、県から市内への転入を希望した教職員については全て受け入れ、市内配置を行った。

○非常勤講師の配置

- ・育児休暇、病気休暇等により欠員が生じて児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、その都度、迅速に非常勤講師を配置した。
- ・各学校の実情に応じて、特別非常勤講師、実技指導困難代替非常勤講師、初任者研修代替非常勤講師を配置した。

●29年度の取組

○教員採用選考

- ・更なる特別選考区分の拡大によって、優秀な人材の確保に努める。
- ・教員として服務・勤務の心構えを習得させるため、採用内定者を対象に採用ガイダンスを2回(11月と3月)実施する。
- ・人材確保の啓発を行い、出願数を前年度の387人から410人に増加させ、採用予定者数の拡大に伴う倍率の低下を最小限に抑える。

○管理職選考

- ・公平・公正・透明性のより一層の向上を図りながら、人物重視の登用を行うとともに、女性管理職の配置率向上に向け、啓発や働きかけを進める。

○教職員の適材適所への配置

- ・人事異動に係る基準を基に、平成30年度初の人事異動を円滑に進められることができるようにする。
- ・平成30年度初の人事異動に向け、職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。
- ・県との円滑な人事交流を行うため情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。
- ・女性管理職の登用を進めるため、教頭選考の受検資格対象となる主任層への女性教員の抜擢や、管理職選考検査の周知、校長や女性教員に対する意識啓発などの取組をより一層進める。

○非常勤講師の配置

- ・教職員の育児休暇、病気休暇等により、児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、今後も引き続き迅速に非常勤講師を配置する。

●推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)					H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0			4	99.2%
進捗状況		87.3	88.7	88.0				
指標2		優秀教職員の表彰					H28評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施				
進捗状況		実施	実施					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善	
H28事業計画	H28事業成果
○教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施 ○平成29年度から変更する評価シートの開発	○権限移譲を踏まえた教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施(6回) ○有識者を交えた人事評価に関わる懇談会の開催 ○新しい評価シートの開発
当初予算額 684 千円	決算額 687 千円
構成事業2 教職員表彰制度	
H28事業計画	H28事業成果
○被表彰者の選考と表彰の実施	○10名の教職員を選考し, 優秀教職員として表彰
当初予算額 104 千円	決算額 91 千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	788 千円	H28	778 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,754 千円	合 計	1,712 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○教職員評価の評価者研修会を予定通り(6回)実施し、評価者としての力量向上を図ることができた。

○平成28年度からの教職員評価制度について、検討をすすめ、有識者を交えた人事評価に係わる懇談会を開催するとともに、新年度に活用を図る標準職務遂行能力表を作成した。

○教育委員会表彰に計21名の推薦があった。選考委員会で10名の被表彰者を決定し、表彰式を実施した。

○平成28年度の教職員人事評価について、従来の目標設定シート及び評価シートを活用して、教職員評価の本来の目的である人材育成、組織の活性化を図れるように運用を進めた。また、地方公務員法の改正に伴い、これまでの教職員評価を教職員人事評価に移行した。

● 29年度の取組

○平成29年度より新しい評価シート(能力態度評価、業績評価)を用いて、人材育成、組織の活性化ならびに人事管理の基礎としての活用を目的として、教職員人事評価制度の運用を進める。

○校園長・教頭に対する評価者研修を実施する。(4回開催)

○学校教育に携わる中で地道な努力を積み重ね、優れた実績をあげている優秀な教職員を表彰する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16			4	100.0%
進捗状況	16	16	16					
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						H28評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28		4	175.0%
進捗状況	8	32	56					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】	
H28事業計画	H28事業成果
○市内24中学校区で実施	○市内24中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング
 ・上半期及び下半期それぞれ計画どおり各区1回、計16回開催した。
 ・6月から8月にかけて全区で第1回目のミーティングを実施した。今年度教育委員会が進める施策のうち、特に市民と協働して行う事業について情報提供をし、意見交換を行った。
 ・11月から1月にかけて全区で第2回目のミーティングを実施した。各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティング
 ・24中学校区で開催した。
 ・各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

○いずれのミーティングも教育委員が担当区のミーティング概要を教育委員全員と共有し、市全体の教育施策について検討・提言を行った。

● 29年度の取組

○区教育ミーティング
 ・平成28年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。
 ・1回目のミーティングでは、平成29年度の特徴ある施策について教育長から情報提供し、意見交換を行う。
 ・下半期は1回目のミーティングをふまえたテーマや、各区独自の課題について意見交換をする。

○中学校区教育ミーティング
 ・各区3または4中学校区で実施し、平成30年度までに全中学校区を一巡する。
 ・テーマは「防災教育」とし、各学校区で作成している防災教育プログラムへの理解を深めるとともに、より実効性のあるものにするための意見交換を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 「新潟らしい教育改革の推進」の「新潟らしい」という表記は、他県や他市ではやっていないという意味を持っているのか。
 ⇒ 教育委員が8名おり、担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングで意見交換しているのは、他県や他市ではない取組であり、ここが「新潟らしい」ところだと考えている。

●H28施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						H28評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	人給構築	人給稼働	-	-	-	-		
進捗状況	-	基本計画策定	人給稼働	-	-	-		
指標2	H29～教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備と市長部局との連携を図るため、「新潟市総合教育会議」を共同開催						H28評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	協議・開催	協議・開催	協議・開催	-		
進捗状況	-	-	-	-	-	-		
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】			
H28事業計画		H28事業成果	
○教職員人事給与システムの構築	○国庫負担金・定数業務のシミュレーションの実施	○教職員人事給与システムの稼働	○国庫負担金の申請
○学校編制基準等の策定	○勤務条件等関係条例の整備	○32人以下学級の拡大を含めた、学級編制基準を策定した。	○勤務条件関係条例等の改正・施行
当初予算額	174,219 千円	決算額	170,308 千円
構成事業2			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	174,219 千円	H28	170,308 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	300,634 千円	合 計	233,763 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度 of 取組に対する評価

○以下の取組を行い、平成29年4月1日の権限移譲に向けた準備を行った。

- ・教職員人事給与システムの並行稼働も含めた総合テストを行い、開発完了を確認した。
- ・国庫負担金・定数業務のシミュレーションを行い、平成29年分の申請を行った。
- ・作成した学級編制基準を基に、少人数学級を拡大するとともに、級外教員数を維持できるよう、必要定数を確保した。
- ・勤務条件に関する関係条例を、12月議会及び2月議会で整備し、関係規則等も整備した。

● 29年度 of 取組

○年2回定例の総合教育会議の運営協力を通じて、市長部局との連携を図りながら教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備に努め、教育課題に的確に対応していくようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共育通信(発行回数)						H28評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-	4	100.0%
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標2	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0				
進捗状況	-	-	-					
指標3							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H28評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業	
H28事業計画	H28事業成果
○A4判見開き4ページ, 横書きカラー仕様, HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校・園・関係機関等321か所に毎回63,500部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○年間4回発行 ○教育委員会事業等, 教育に関わる様々な情報を発信 ○地域, 学校園, 社会教育施設の様子を発信 ○方針や様々な取組が分かったと評価
当初予算額 1,232 千円	決算額 1,089 千円
構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,878 千円	合 計	2,553 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○年間4回発行し、教育ビジョンの中心的施策や学校園、地域における活動、社会教育施設の取組を広報した。

- ・第41号(H28.6.30)では、「新潟市生活・学習意識調査」を基に、新潟市の子どもの生活状況を伝えた。
- ・第42号(H28.9.30)では、市立高等学校2校の特色ある教育課程や生徒の声を掲載し、高校生活の様子を伝えた。
- ・第43号(H28.12.16)では、権限移譲によって変わる新潟市の学校の変更点や、それに伴う取組等を伝えた。
- ・第44号(H29.2.28)では、新潟市が目指す一貫教育について、その概要や現状での取組を伝えた。

○平成28年12月16日(金)～平成29年1月31日(火)の期間において、「にいがた共育通信」に関わるアンケートを実施し、おおよそ肯定的な評価をいただけた。また、今後掲載してほしい事業等を集約することができた。

● 29年度の取組

○年間4回発行し、教育ビジョンの各施策実施における状況や、学校教育や社会教育における現状を広報する。また昨年度実施したアンケートでの意見も活用する。

○特集記事は、次の4回を予定している。

- ・第45号(H29.6.30) いじめを見逃さない学校づくりの取組について
- ・第46号(H29.9.29) ほんぽーと開館10周年記念事業、総合教育センター「タブレット等ICT活用研修」について
- ・第47号(H29.12.15) 教育フォーラム2017「大好きにいがた」について
- ・第48号(H30.2.28) 地域と学校園の防災教育やその取組について

○年末にアンケートを行うと共に、学校園の中から抽出アンケートを実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標2		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8		H28評価						
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
H28事業計画	H28事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基づいた学校適正配置の推進	○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、満日小学校の阿賀小学校への編入統合が完了
当初予算額 1,039 千円	決算額 815 千円
構成事業2	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H28事業計画	H28事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	1,039 千円	H28	815 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,300 千円	合 計	1,897 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進し、4地区10校において協議を行った。主な取組は下記のとおりであり、いずれも概ね順調に進行している。

- ・北区の南浜中学校区の適正配置を進めるため、コミュニティ協議会、PTAへ児童・生徒数の現状と推計に係る情報を伝えるとともに、今後の進め方について協議し、検討会の設立の時期を検討している。
- ・北区の葛塚中学校区において、平成30年4月の太田小学校の葛塚東小学校への編入統合に向け、統合実行委員会、閉校実行委員会をそれぞれ立ち上げ、内容を協議し、可能な事業から実施に入っている。
- ・中央区の上山中学校区における学校の大規模化について、鳥屋野小学校においては、コミュニティ協議会及びPTAとで地域検討会を開催し、教育環境の改善に向けての対応策を協議している。上山小学校においてはコミュニティ協議会に現在の状況を説明し、地域検討会の立ち上げやその時期について検討中である。
- ・秋葉区の満日小学校と阿賀小学校の統合において、満日小学校の閉校事業は完了した。

● 29年度の取組

○28年度に引き続き、新潟市立小中学校の学校適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は次のとおりである。

- ・南浜中学校区に係る地域検討会の設立に向けて、具体的な協議を継続する。
- ・太田小学校の葛塚東小学校への編入統合について、統合後の円滑な学校運営が行われるように協議を継続する。また、太田小学校の閉校事業実施について支援を行う。
- ・笹山小学校の地域検討会を立ち上げ、今後のあり方について協議を進める。
- ・上山小学校の施設整備について、地域や保護者に情報提供を行い、鳥屋野小学校区地域検討会と調整をとりながら、上山小学校区の地域検討会を立ち上げ、将来的には合同での協議機関としていきたい。
- ・今後、学校適正配置が必要な地域へ情報提供を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H28施策評価

3期進捗平均
3.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	90.2	85.0			3	93.5%
進捗状況	75.0	90.2	84.3					

指標2	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H28評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進			
H28事業計画		H28事業成果	
○教育ビジョン推進委員会を3回実施	○全54施策の進行管理・評価を実施	○教育ビジョン推進委員会の3回開催(6・10・2月)	○全54施策について, 中間及び最終評価による進行管理・評価の実施
○施策の点検と評価のダイジェスト版を作成・配付		○9月にダイジェスト版を作成・配付	
当初予算額	812 千円	決算額	732 千円

構成事業2			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業3			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業4			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業5			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

構成事業6			
H28事業計画		H28事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	812 千円	H28	732 千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,400 千円	合 計	1,341 千円

注:再掲事業分を含む

● 28年度の取組に対する評価

○5月に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成28年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は4.12、NEXT&NEWの平均は4.10となった。このことにより、施策が着実に進捗していると判断できる。

○評価分布は、概ね目標を達成した施策(=4)と目標を上回って達成した施策(=5)を合わせて84.3%になり、目標(=4)を下回る施策が17あった。これは、3期進捗平均が3.0という未達成評価結果につながった。これは平成27年度最終評価において全施策の中で「指標どおり概ね達成した施策の割合」が90.2%ととても高い割合であったため、平成28年度指標目標を90.2と高く設定したことによる結果である。しかしながら、84.3%の施策が目標を超えたことは、施策が着実に実施され成果を挙げていると判断できる。

○「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づく「教育委員会の事務執行にかかる点検・評価」として教育ビジョンの評価を活用した。

● 29年度の取組

○教育ビジョン第3期実施計画の平成28年度最終評価の結果や、それに対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を生かし、平成29年度の適正な進行管理を進める。

○平成29年度指標目標値は、平成26年度から平成28年度の進捗状況値のほぼ平均値である85.0を設定し、より多くの施策が上回れるように、進行管理を進める。

● 推進委員からの意見・要望等